

教育委員会の所管事務に係る  
自己点検・評価報告書  
(令和5年度事業分)

令和6年10月

西海市教育委員会

## 目 次

I	教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価について	1 ～ 3
II	学識経験者における所見	4 ～ 13
III	自己点検・評価一覧表	
1	教育委員会の活動状況について	15 ～ 18
2	教育委員会が管理・執行する事務について	19 ～ 25
3	教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務について	
1.	生きる力をはぐくむ学校教育の実現	
(1)	能力や個性を伸ばす教育の推進	28 ～ 32
(2)	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進	32 ～ 38
(3)	健康で安全な学校生活の実現	38 ～ 42
(4)	教職員の資質の向上	42 ～ 44
(5)	幼児教育の推進	44 ～ 45
(6)	働き方改革の推進	45 ～ 46
2.	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進	
(1)	学習環境の充実	47 ～ 51
(2)	公民館活動の活性化	52 ～ 53
(3)	人権教育の推進	53 ～ 54
3.	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上	
(1)	家庭の教育力の向上	55 ～ 57
(2)	青少年の健全育成	58 ～ 60
4.	安心して学べる教育環境の構築	
(1)	安心して望ましい教育環境の実現	61 ～ 64
(2)	安全で快適な教育施設の整備	65 ～ 67
5.	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興	
(1)	文化・芸術活動の推進	68 ～ 69
(2)	文化財の保存・保護・活用	70 ～ 73
(3)	活力あるスポーツの振興	73 ～ 76
(4)	スポーツ環境の充実	77

# I 教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価について

## 点検評価の概要

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定により、毎年、教育に関する学識経験者の知見を活用し、その権限に属する事務（教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

西海市教育委員会においては、令和 3 年度に改定した第二期西海市教育振興基本計画の施策体系に沿って、令和 5 年度における所管事務についての自己点検及び評価を行い、その報告書を作成しました。

### 【参考】

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（事務の委任等）

第 25 条 教育委員会は、教育委員会規則で定めるところにより、その権限に属する事務の一部を教育長に委任し、又は教育長をして臨時に代理させることができる。

2 前項の規定にかかわらず、次に掲げる事務は、教育長に委任することができない。

一 教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること。

二 教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること。

三 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること。

四 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。

五 次条の規定による点検及び評価に関すること。

六 第 27 条及び第 29 条に規定する意見の申出に関すること。

3 教育長は、教育委員会規則で定めるところにより、第 1 項の規定により委任された事務又は臨時に代理した事務の管理及び執行の状況を教育委員会に報告しなければならない。

4 教育長は、第 1 項の規定により委任された事務その他その権限に属する事務の一部を事務局の職員若しくは教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員（以下この項及び次条第一項において「事務局職員等」という。）に委任し、又は事務局職員等をして臨時に代理させることができる。

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 外部評価者の意見

点検・評価に伴う学識経験者の知見の活用にあたっては、次の2名の外部評価者より各分野に関して、所見をいただきました。

棕本 博志 氏

一瀬 薫 氏

## 評価基準

各施策の評価にあたっては、次の評価基準によりAからDのランク付けを行いました。

評価ランク (達成率)	評 価 基 準
A (100%)	施策の目的、目標を達成するため、各種事業に取り組んでいる。施策の成果は目的水準以上であることから、今後も積極的に施策を推進していく。
B (80%以上)	施策の目的、目標を達成するため、各種事業に取り組んでいる。施策の成果は一部未達成の事業がある。今後も概ね現行の方法、手法等により推進していく。
C (50%以上～80%未満)	施策の目的、目標を達成するため、各種事業に取り組んでいる。施策の成果は一部未達成の事業もある。今後は、課題等を踏まえ、事業の対象や手法について見直しを図りながら展開していく。
D (50%未満)	施策の目的、目標を達成するための課題が多く、各種事業に取り組めないでいる。大幅な事業の見直しを図る。

## 教育委員会の取組

令和5年度の教育委員の活動に関しましては、委員が可能な限り研修会へ参加するなど、課題・検討事項の解決、研究に積極的に取り組みました。

「開かれた教育委員会」を目指し、委員会審議内容の情報公開や情報発信により、積極的に説明責任を果たす必要があり、そのための活動内容の充実や情報発信方法の検討が必要であると考えております。引き続き、市ウェブサイトにて会議開催予定及び議事録を公開するなど、効果的な情報発信に努めてまいります。

一方、教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務に関しては、西海市教育方針及びこれに基づく西海市教育振興基本計画の精神並びに施策に沿いながらも、しっかりと市民のニーズに込んでいるかを検証しつつ、重要事業、優先事業の重点化した取組を行うべきであると考えており、令和3年度に策定された第2次西海市総合計画後期基本計画に合わせ改訂した第二期西海市教育振興基本計画に基づき、引き続き本市教育行政が果たすべき役割を的確に反映した内容を目指してまいります。

## SDGsによる取組

SDGsは「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称で、2015年9月の国連サミットで採択された17の国際目標であり、様々な問題・課題を解決するために「誰ひとり取り残さない」という共通理念とされています。

2030年に向けた国際社会全体の行動計画で設定されたSDGsの理念を実現すべく、持続可能な未来社会の創造に向け、教育活動を進めることが求められています。

西海市教育委員会においても、「豊かな自然や文化を愛し、生涯にわたり学び続けることができる教育の里づくり」の教育方針に基づき策定する本教育振興基本計画と、SDGsの理念は方向性が同一であるため、振興計画の施策を各取組との関連付けを行い、身近なところから取り組むことで、国際目標の達成へ貢献することも目指します。

持続可能な開発目標(SDGs)の詳細	
 <p><b>目標1【貧困】</b> あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる</p>	 <p><b>目標2【飢餓】</b> 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する</p>
 <p><b>目標3【保健】</b> あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する</p>	 <p><b>目標4【教育】</b> すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する</p>
 <p><b>目標5【ジェンダー】</b> ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う</p>	 <p><b>目標6【水・衛生】</b> すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する</p>
 <p><b>目標7【エネルギー】</b> すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する</p>	 <p><b>目標8【経済成長と雇用】</b> 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する</p>
 <p><b>目標9【インフラ、産業化、イノベーション】</b> 強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る</p>	 <p><b>目標10【不平等】</b> 国内及び各国間での不平等を是正する</p>
 <p><b>目標11【持続可能な都市】</b> 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する</p>	 <p><b>目標12【持続可能な消費と生産】</b> 持続可能な消費生産形態を確保する</p>
 <p><b>目標13【気候変動】</b> 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる</p>	 <p><b>目標14【海洋資源】</b> 持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する</p>
 <p><b>目標15【陸上資源】</b> 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する</p>	 <p><b>目標16【平和】</b> 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する</p>
 <p><b>目標17【実施手段】</b> 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化</p>	

## Ⅱ 学識経験者による所見

( 椋本 博志 氏 )

西海市教育委員会が令和5年度の所管事務について行った自己点検及び評価に対する私の所見を述べさせていただきます。

まず総評として、第2期教育振興基本計画の後期に入っの2年目となりますが、前期の成果を踏まえ、改善または修正し、さらにSDGsを意識した成果指標に対して真摯に取り組まれていることを大いに評価します。

コロナも収束したとは言え、これまでの取組の方法から脱却し、新たな方法を模索しながら展開している過渡期だと思いますが、西海市の実態に即した事業展開がなされており、着実な前進が見られていると確信しています。

特に、西海市で盛んな自治公民館（校区公民館）活動を基盤に「学校を核とした地域づくり」を進め、「よりよい学校教育はよりよい地域を創る」ことを念頭に、ふるさとを愛し誇りを持つ【未来の創り手】としての子どもの育成とともに、PTAをはじめとする社会教育での学びを活かした【ふるさとを創る次世代の育成】も視野に入れて、西海市らしい「ふるさと教育」を推進し持続可能な地域づくりを進めてほしいと思います。

また、各種教育施設については、それぞれ整備計画も制定されていますが、施設の統廃合も視野に入れ、持続可能で特色ある地域づくりとともに大いに見直す必要があると思います。

以下、特に指摘しておきたい項目について所見を述べます。

### 1. 教育委員会の活動状況について

西海市ウェブサイトで教育委員会の定例・臨時会の情報が公開されており、説明責任が十分果たされていることは評価します。

一方、コロナの状況があったとはいえ、昨年度より学校訪問や研修会・研究発表会の減少、社会教育施設への訪問と社会教育委員との意見交換の未実施は非常に残念であり、学校と社会教育施設を組み合わせた訪問計画を立てるなど、「出かける教育委員会」の実施等を行い、教育委員の【見える化】をしてほしいと思います。

### 2. 教育委員会が管理・執行する事務について

必要に応じた対応・取組がなされており、特記事項はありません。

### 3. 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務について

#### (1) 生きる力をはぐくむ学校教育の実現

##### ① 能力や個性を伸ばす教育の推進

- 西海市の児童生徒の学力向上のためには、授業や単元での振り返りは不可欠です。「授業実践の視点 ver. 2」をもとにした振り返りは西海市の学力向上に必ず役に立つと大いに評価します。また、学力向上の更なる推進のためにも、年々達成率が低下している家庭学習時間の定着化を図る必要があります。各学校での「家庭学習のすすめ」を基盤としながらも、ICTを活用した具体的な取組を展開していますが、成果がなかなか発揮されていません。一人1台PCを活用し、各学校で使用状況を把握し、学習状況を児童生徒及び保護者にフィードバックし、家庭学習時間の定着化を推進されることを期待します。
- 夢・あこがれ・志を育む職場体験では、ふるさと教育の中核的な事業であります。ふるさと西海市の地場産業をステージにし、西海市に住み心豊かに暮らせる良さを感じるキャリア教育を推進して、西海市らしい「夢・あこがれ・志」を持った児童生徒の育成と特色ある学校づくりを推進されることを期待します。
- 特別支援教育の充実については、専門機関等と連携をとりながら、研修や相談体

制が十分に図られ、学習支援員が21名配置されていることを評価します。一人一人の児童の困り感に寄り添った特別支援教育の更なる推進を期待します。

- 中学1・2年生を対象とした「エンジョイ！イングリッシュ、エンジョイ！イングリッシュ in 西海」は、ALTを活用し、外国語によるコミュニケーションを楽しむことを第一として取り組まれていることを大いに評価します。
- ② 豊かな心とふるさとを学ぶ教育の推進
  - 道徳教育の充実については、県主催事業を活用し、教職員対象の研修会を実施されて、令和5年度は各校1名参加されていることを評価します。今後は道徳教育推進教師の参加はもちろんです、道徳教育が学校教育活動全体で推進されるべきであることから、西海市に勤務する教職員は一定期間に必ず受講をすることを期待します。市内全校で道徳教育と関連づけた体験的な活動に取り組まれていることは大いに評価します。道徳的実践力を高めるよう、活動内容を更に精選してほしいと思います。
  - ふるさとを学ぶ教育の推進については、西海市を学ぶ副教材を定期的に更新されていることを評価します。ふるさと教育を推進するためにも、創意工夫ある「西海学」を市内全校で実施してほしいと思います。さらに、ふるさと教育を基盤とするコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の展開を期待します。
  - 読書活動の推進については、平日の学習時間の定着とセットに取り組む必要があります。各学校で、読書時間も含めた学習時間の定着化を図る取組を進めてほしいと思います。
  - 不登校等の子どもの支援については、昨年度に比べ、教育支援センター指導員の拡充を評価します。今後の不登校改善率の向上を期待します。また、文部科学省が示している「誰一人取り残されない学びの保証に向けた」対策にもあるように、不登校等の児童生徒が学びたいと思ったときに学べる環境として、校内教育支援センターの設置や別室登校支援員の配置等も検討され実施されることを望みます。
  - いじめや差別のない学校づくりについては、市内全校で策定されている「いじめ防止基本方針」に即した取組により、いじめの早期発見早期解消につながっていることを大いに評価します。今後も、アンケート等での実態把握に努められるとともに、児童生徒理解研修及び校内での情報共有機会の充実を図ってほしいと思います。
- ③ 健康で安全な学校生活の実現
  - 「朝ごはんを毎日食べて登校する児童・生徒の割合」については、年々低下傾向にあります。朝食を摂らずに登校すると、半日以上体内に栄養が行かない状況になり、授業での学習理解や活動への集中力が低下してしまいます。朝食の摂取は学力向上のためにも必要不可欠な取組であります。平日の学習時間及び読書時間の定着と、併せて児童・生徒も含め保護者及び地域の理解を更に進める必要があります。そのために、子どもも大人も朝ごはんをしっかり摂ることを市PTA連合会や青少年健全育成会との協働し取り組むとともに、市広報紙や講演会等で周知・啓発されることを大いに期待します。
  - 避難訓練については、全校での実施ができていることを評価します。児童・生徒の生命を守るためには、今後は警察や消防署、市役所関係部局・課との連携をさらに進め、教職員だけの訓練で終わらせず、外部の評価・検証をする機会を、市内全校で定期的（2～3年に1回程度）に設けてほしいと思います。さらに、地域防災の観点からも、市内の全中学校でのHUG（避難所運営ゲーム）の導入の検討をしてほしいと思います。
  - 体力向上については、継続した授業での準備運動での取組の成果が現れています。部活動指導者の指導力向上の研修会も定例化できており、評価します。今後は部活動指導者の地域移行について、西海市の地域性に応じた部活指導者の在り方を検討し、地域や各種研修会等での周知・啓発も図りながら、推進されることを期待します。
  - 食育の推進については、児童・生徒の平日の朝食摂取率100%達成のためにも更に

注力して取り組んでほしいと思います。そのために、学校栄養職員や栄養教諭、さらに各地区のヘルスメイトや市役所保健福祉部局との連携をはかり、授業や体験活動、PTAでの食育活動の推進を更に期待します。

#### ④ 教職員の資質の向上

- 定期研修会及び選択研修会での教職員研修の充実は順調に取り組まれており、評価します。研修会については、ICTを活用して勤務校で受講するシステムやアーカイブ化して長期休暇での自宅研修等での活用等も図ることを検討してほしいと思います。

#### ⑤ 幼児教育の推進

- 幼・保・認こ・小・中・高の教職員が研修会等を通して、校種を超えて情報交換したり、それぞれの校種の課題を共有されたりしていることを大いに評価します。西海市の児童・生徒を全ての校種で、一人一人に寄り添いながら支援していくためにも、今後更に充実することを期待しています。

### (2) いつでもどこでも学べる生涯学習の推進

#### ① 学習環境の充実

- 学習環境の充実については、佐世保高専オンライン出前講座の活用や住民ニーズに応じた公民館講座の開設は評価します。講座対象・内容が絞られている傾向があるので、課題にも表記されているように、多世代を対象とする講座の創意工夫を期待します。
- 社会教育施設整備事業については、適切に整備が進んでいることを評価します。一方、施設の老朽化が進んでおり、統廃合も含めた施設の在り方については今後大胆に検討していくことを期待します。
- 図書サービスについては、コロナの影響もあり、電子図書館サービスも充実・定着化していることは素晴らしいと思います。イベント等を活用した図書サービスの周知・啓発も、意欲的に取り組まれていることを評価します。よりよい図書サービスを提供するためにも、目標達成に向けて、更に図書司書有資格者の任用を期待しています。また、団体貸出や移動図書館の実施が子ども向けに絞られているので、今後の少子高齢化社会への対応として、高齢者を対象とした施設（病院や介護施設、デイサービス施設等）での貸出、市立小中学校やコンビニ、スーパー、商店での貸出・返却への対応も、高齢社会への対応として検討してほしいと思います。

#### ② 公民館活動の活性化

- 公民館活動の活性化については、西海市はもともと自治公民館活動が盛んな地域であるので、自治公民館活動を基盤とした公民館活動を推進していることを評価します。モデル事業での学びを市内で共有し各地区での充実した活動につながるよう実践発表・実践記録等で共有してほしいと思います。また、公立公民館と自治公民館の連携・協働を図るためにも、地域運営組織や学校運営協議会等を活用し、今後とも情報交換してほしいと思います。

#### ③ 人権・同和教育の推進

- 人権教育については、人口減少も視野に入れると、人権教育に関する講演会・研修会の参加者延べ人数が昨年度に比べ増えたことは評価します。参加人数が指標となっておりますが、今後は参加者の満足度も評価してほしいと思います。
- 学校・家庭・地域の連携の核として、「は・あ・と・ふ・る運動」を西海市の合言葉にして、社会人権教育でも学校教育でも活用されることを期待します。

### (3) 市民総ぐるみで取り組む教育力の向上

#### ① 家庭の教育力の向上

- 家庭教育は全ての教育の基盤となるものです。家庭教育講座については、令和5年度は学校での開催が無く、公民館講座でも1講座開催しか実績がありません。講座対象の保護者へ周知・啓発するため、市PTA連合会と連携・協働して、学校で開

催する家庭教育を推進されることを期待します。

- コミュニティ・スクールについては、令和5年度に小学校8校設置済みになっていることを大いに評価します。学校運営協議会では地域の各種会議を整理統合し、各校区の現状に応じた「地域とともにある学校」「地域の核となる学校づくり」を推進されることを期待します。達成目標に向けて年次計画ですすんでいることを評価します。コミュニティ・スクールは中学校区での設置も可能であるので、学校や地域学校協働本部の状況に応じ、整理統合も検討してほしいと思います。また、地域学校協働本部での活動状況等を市全体で情報共有し、よりよい活動になることを期待します。
- ② 青少年の健全育成
  - 青少年の育成については、西海市は「地域の子どもは地域で育てる」という風土が醸成されており、少年の主張大会や子ども体験活動事業、青少年を対象とした体験・交流事業、各種イベントを通じた周知・啓発も順調に推進されていることを評価します。メディア安全指導員の養成と活用が十分でない状況で、家庭教育講座の充実を図るためにも、ながさきファミリープログラムファシリテータやメディア安全指導員を養成し、次世代の指導者を育成してほしいと思います。

#### (4) 安心して学べる教育環境の構築

- ① 安心で望ましい教育環境の実現
  - 地域ぐるみの安全確保対策としては、保護者や地域住民による登下校ボランティアの活動で、学校の安全体制の充実が推進されていることを評価します。
  - 校種間での連携強化については、西海市らしい「小・中・高一貫教育」を推進し、幼児教育も含め、幼稚園・保育所・認定こども園との連携も含め、子どもファーストの西海市づくりの推進を期待します。
  - 放課後の子どもの居場所づくりについては、小学生を対象とした放課後子ども教室は西海東小・大崎小でされていますが、中学校での学習支援を中心とした地域未来塾の取組は西海市では未実施なので、市内高等学校への進学を支援することも含めて検討してほしいと思います。
  - 奨学金・就学援助制度については、経済的な理由等で就学が困難な児童生徒を支援する制度はふるさとを愛し誇りを持つ児童生徒の育成のためにも重要な事業だと評価します。継続し、更に充実されて取り組まれることを期待します。
  - 市内高等学校の活性化支援については、スポーツ（野球・バレーボール）と文化（吹奏楽）での魅力ある学校づくりを評価します。西海市も少子化がすすんでおり、成果指標の達成は困難と思われませんが、市内高等学校の中学校への出前講座で各高等学校の特色・魅力を中学生に伝える機会を設けることを期待します。
  - 学校校舎等については、老朽化が著しい現状もあることから、年次計画に沿って長寿化されていることを評価します。適正規模の学校数の問題もありますが、小中連携や教科担任制等の教職員の働き方改革も視野に入れて、中学校区でのコミュニティ・スクールの設置や義務教育学校への統廃合も含め、安全で望ましい教育環境の実現を推進されることを期待します。
- ② 安全で快適な教育施設の整備
  - 学校施設の改修については、どの学校施設も老朽化が著しい現状ですので、計画的な改修が進められていることを評価します。児童生徒の利用はもちろん、誰もが使いやすいバリアフリーな施設への改修を期待します。
  - 教職員住宅については、西海市に勤務する教職員の確保のためにも必要数の確保と住環境整備を進められていることを評価します。特に、住宅の水洗化は下水道の整備との兼ね合いもありますが、優先的に進めてほしいと思います。

#### (5) 地域を支える文化・芸術、スポーツの振興

- ① 文化・芸術活動の推進

- 文化・芸術を通じた地域内外の交流については、文化庁事業を活用した事業を3小中学校で実施できたことを評価します。西海市は人口減少していますが、文化協会との連携事業での文化施設の利用者数は成果指標には届かないものの、定例的に開催されていることを評価します。また、文化協会の主要事業実施や広報紙発行の支援、協会への加入促進の支援も大いに評価します。
- ② 文化財の保存・保護・活用
  - ミュージアムのテーマ研究も進んでいることは評価します。歴史民俗資料館の入館者数はコロナの影響もあり伸び悩んでいますが、ふるさとを学び直す公民館講座や交流人口を増やす事業、西海市をステージとしたツアー等の連携も含め検討してほしいと思います。
  - 文化財の情報提供については、継続的な情報発信がされていることを評価します。ガイドブックの改訂版の発行も予定されていますが、ガイドブック形式だけにとらわれず、様々なメディアの活用を図られることを期待します。
- ③ 活力あるスポーツの振興
  - 生涯スポーツについては、生涯スポーツ事業はコロナ影響が強かった昨年度に比べても、回数が成果目標から著しく減少していることをとても残念に思います。ニュースポーツの普及はスポーツ推進委員の役割でありますので、生涯スポーツの推進を図る上でも、またスポーツ推進委員の資質向上のためにも、もっと積極的に取り組んでほしいと思います。体育施設も老朽化が進んでいますが、計画的な整備計画のもと、安全安心な施設を提供されていることを評価します。
  - スポーツ指導者の育成については、研究大会及び情報交換会への参加を成果指標として評価されていますが、令和5年度はスポーツ指導者講習会の開催回数が1回と減少していますが、自己評価Aは適切であるのか再度検討してほしいと思います。スポーツ推進委員を派遣した研修会や情報交換会での学びを市内のスポーツ推進委員間での情報共有する機会を設定するなど、市内での資質向上の機会を設定し、市内のスポーツ指導者を継続的に育成されることを期待します。そのためにも、スポーツ推進委員の在り方を検討し、今以上に活躍できる環境作りをしてほしいと思います。
  - 競技スポーツの推進については、県民体育大会への参加者数もコロナ以前に戻りつつあり、さらに九州大会以上の大会への参加者数は目標値を大きく上回っていることを大いに評価します。競技力向上を目指す各種研修会の開催やプロスポーツの活用については、西海市の地理的な状況もあるとは思いますが、できることから始められることを積極的に進めてほしいと思います。特に、プロスポーツの活用としては、V・ファーレン長崎や長崎ヴェルカとのホームタウン活動の定例化を望みます。
- ④ スポーツ環境の充実
  - スポーツ環境の整備については、体育施設の整備の進捗状況が厳しい中、第2期西海市スポーツ推進計画に基づき、予定通り実施できたことを評価します。スポーツ情報提供はコロナの影響もあり、イベント等の開催も少なかったため、令和5年度の成果については評価します。

令和6年9月24日

椋本博志

( 一瀬 薫 氏 )

西海市教育委員会が令和5年度の所管事務について行った自己点検及び評価に対する私の所見を述べさせていただきます。

まず総評として、「第二期西海市教育振興基本計画」の目標達成のために、「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」については5つの重点政策、17の主要施策を掲げ、マネジメントサイクルに則り、具体的な方策のもと継続実践し、確実に成果をあげられていることに敬意を表します。いずれの事業も西海市の教育振興に向けて必要不可欠な取組であり、西海市教育委員会が学校や家庭、地域の様々な教育課題の解決に向けて真摯に事業に取り組む様子を点検・評価報告書から十分に理解することができます。

なお、昨年度より学校現場の喫緊課題である「働き方改革」を主要施策として取り上げ、真正面から取り組んでいることは評価に値します。また、SDGsの理念を実現すべく、各施策ごとに関連する開発目標を掲載し、教育活動の推進を図っていることはとても意義深いことです。

今後も、常に市民のニーズに応じているかを検証しながら施策・事業を展開し、豊かな自然や文化を愛し、生涯にわたり学び続けることができる「教育の里」づくりに努めてください。

以下、特に指摘をしておきたい項目について所見を述べます。

#### 1. 教育委員会の活動状況について

「開かれた教育委員会」として、委員会審議内容の情報公開・発信により、積極的に説明責任を果たしたいという姿勢を高く評価します。市民は教育行政への強い関心・期待を持っています。教育委員会の会議録のウェブ配信や広報誌の活用等により、教育委員会の活動の一層の可視化が図られることを望みます。

学校行事や研究発表会に多数参加し、子供たちや学校の状況の把握に努め、活発に活動されています。今後、社会教育施設への訪問や社会教育委員との意見交換をぜひ実施し、幅広く市民のニーズの把握に努めて欲しいと思います。

#### 2. 教育委員会が管理・執行する事務について

必要に応じた対応・取組がなされております。特記する事項はありません。

#### 3. 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務について

##### (1) 生きる力を育む学校教育の実現

##### ① 能力や個性を伸ばす教育の推進

- 「学力の向上」については、学力向上スーパーバイザーによる指導や、「授業実践の視点 ver. 2」・「家庭学習の手引き」の作成等、必要な施策を講じています。しかし、子供たちの姿として、取組の成果が残せていないことが残念です。子供たちの学力の問題は、本市の最重要課題の一つです。十分な学力が身につけていないと、将来の選択肢（進学、職業）が狭まることにもなりかねません。今一度、子供たちの実態の分析と、有効な施策について検討されることを期待します。

家庭学習時間の達成率が十分でないことも課題です。各学校の「家庭学習の手引き」の内容や家庭学習時間に見合う課題の設定がなされているのか等の検証が必要だと思います。家庭学習の習慣化は確かな学力の定着、学びに向かう力の醸成のためにも重要です。確実な成果を残すことが望まれます。

- 共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築に向けては、どの通常の学級にも特別な支援の必要な児童生徒が多数在籍している現状により、特別支援学級担任だけでなく全ての教職員がこの教育に関わっていくという意識の変革が必要です。本市においては、特別支援学校の特別支援教育コーディネーターによる講義・演習や幼稚園から高校までの特別支援教育コーディネーターが共通理解を図ることを目的とした合同特別支援教育研修会を2回実施する等すばらしいと思いま

す。また、令和5年度も学習支援員を小学校9校・中学校4校、計21名配置するなど手厚い対応がなされています。

- ALTの配置や英語教育指導員の派遣により、英語教育の推進が図られています。小中の連携の内容が情報交換にとどまらず、カリキュラムの連携がなされるよう期待します。中学校へのスムーズな移行へと繋げてもらえたらと思います。
  - 「地域学校協働活動」を視野に入れた、学校も輝く、地域も輝く特色ある学校づくりが推進されています。豊かな地域人材を大いに活用し、子供たちが将来の生き方を考えるキャリア教育の推進も図ってください。
  - 「学校図書館司書」及び「学校図書館運営補助員」の配置も適切になされています。また、蔵書についても、蔵書数を満たすだけでなく魅力的な本が並ぶ図書館運営の視点を持ち、蔵書の点検を進めていることは素晴らしいです。  
読書活動は、子供が言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。本を多く読んでいる子供は、自分でも読書活動の効果を実感しているといわれています。読書体験が、学力や学習姿勢に好影響を及ぼしています。低学年からの読書習慣が身に付くような取組の継続をお願いします。
- ② 豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進
- 県教育委員会から講師を招いて道徳教育推進教師を対象とする研修会を実施するなど、道徳教育に関する研修の推進がなされています。また、様々な体験活動やボランティア活動と関連させて、道徳的実践力を育もうと取り組んでいることも評価できます。「特別の教科 道徳」位置づけの趣旨や道徳的価値の実現を図るためにも、課題について自分ごととして捉え、「考え、議論する道徳」への転換に向けた授業改善を支援されるよう願います。
  - 地域を学ぶ副教材の作成・活用や西海学の展開は、それぞれの地域のよさを再発見し、郷土に対する誇りと愛情を育み、将来への夢や憧れ・志をふくらませることに繋がる取組だと大いに評価できます。
  - 心の教室相談員の配置やスクールカウンセラー・ソーシャルワーカー等による専門家の相談体制の整備を図り懸命に取り組まれていることにより、不登校児童生徒の改善率が少し向上していることに敬意を表します。不登校の要因は多種多様であり、改善は容易ではありませんが、引き続き児童生徒の立場に立った支援をお願いします。学習支援員1名の増員は、教師にも子供たちにも大変ありがたいことだと思います。
  - 「いじめ防止基本方針」の策定とそれに則った確実な対応、定期的なアンケートの実施等を通して、本市が「いじめを見逃さない、安心して過ごせる学校づくり」に日常的に・組織的に取り組んでいる姿勢を高く評価します。今後とも、「いじめ見逃しゼロ」の姿勢で、いじめの早期発見、未然防止に指導力を発揮して欲しいと思います。  
令和6年8月、「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」の改訂が行われました。全国的にみても、重大事態の発生件数は増加傾向にあり、依然として法や基本方針、重大事態ガイドライン等に沿った対応ができていなかったために、児童生徒に深刻な被害を与える事態が発生しています。改訂「重大事態ガイドライン」の周知とともに、いじめ問題への一層の強化を図られるよう努めてください。
- ③ 健康で安全な学校生活の実現
- 児童の健康な生活の推進の観点からも、基本的な生活習慣の定着は大変重要です。西海市が進める統一的な素晴らしい取組「は・あ・と・ふ・る」運動と繋げながら、健康で安全な学校生活の推進に努めてください。
  - 子供たちの登下校は広域にわたるので、特に、自然災害・不審者への対応等大変だと思います。関係機関と連携した安全教育の推進が図られています。
  - 学校給食・食育の推進のためにも、学校給食施設の充実は欠かせません。引き続き、市長部局と連携して「防災食育施設」の整備に向けて円滑に事業を推進してく

ださい。

④ 教職員の資質の向上

- 研究発表会・研修会の開催や指導主事及び教科等指導員の学校への派遣・指導に尽力されていることに敬意を表します。また、各省令主任や分掌担当者の研修会を開催し、協議や情報交換を通してそれぞれの役割意識や学校運営への参画意識を高められたことは意義あることだと思います。市内全ての小中学校が「チーム学校」として輝くことと思います。
- 夏季休業中の職員の研修では、選択制研修会の実施等工夫を凝らし、教職員の興味・関心・意欲を喚起しながら研修会を設定しています。とても意義ある取組だと思います。児童（生徒）のICT活用を指導する能力の向上については、適切に位置づけられています。情報モラルについて指導する能力の研修にも油断なく力を注いでください。

⑤ 幼児教育の推進

- 校種等が異なる職員の研修会の実施は容易ではないと思いますが、幼・保・認こ・小・中・高の合同の特別支援研修会の開催を8月と2月の2回実現したことは、とても意義あることと思います。また、外部人材の活用を図り、研修機会の確保と内容の充実に努められている姿勢と努力を高く評価します。

⑥ 教職員の働き方改革の推進

- 「働き方改革」を項目として取り上げ、真正面から取り組んでいることを高く評価します。意義深いことです。教員の大きな負担となっている中学校の部活動指導のために、6人の外部指導者を配置し、着実に成果が挙げられていることに敬意を表します。西海市に合った中学校部活動の在り方について協議を重ねてください。  
なお、働き方改革は、『子供たちのため』の教員の負担軽減であることを確認しながら、様々な施策に取り組んでください。また、働き方改革の推進が同時に、教職の魅力・素晴らしさを実感できる、学校の「働きがい改革」・「働きやすさ改革」に繋がることを期待します。

(2) いつでもどこでも学べる生涯学習の推進

① 学習環境の充実

- 時代に対応した研修会の在り方が求められています。社会情勢をしっかり捉え、情報機器操作の研修やオリジナルゲームの作成講座等に積極的取り組んでいます。  
また、幅広い世代に向けた講座も29講座実施し、魅力ある社会教育事業が展開されています。
- コロナ禍の影響により離れた利用者を増やすために、図書館イベントでの魅力の発信や利用者カードの電子申請の導入、開館時間の変更等、様々な工夫と努力をされています。成果として表れていることを喜びたいと思います。
- 「第4次西海市子ども読書活動推進計画」に基づき、ブックスタート等の事業が着実に実施されており評価できます。様々な機会を捉えて図書館の魅力を発信し、子供たちの発達段階に応じた読書活動の推進がなされています。

② 公民館活動の活性化

- 地域住民のニーズや課題を把握しながら、魅力ある学習講座が開講されています。また、「自治公民館モデル事業」を16館が実施し、自発的な公民館活動が展開されています。住民協働の地域づくりが推進されていることを実感します。  
各地区の社会教育施設の経年劣化が進み対応が大変だと思います。計画的に施設の改修や学習環境の整備に努めてください。

③ 人権教育の推進

- 「人権啓発作品コンクール」において昨年度よりもさらに増加し、2,386点の作

品の応募があったことは、本市における人権教育が浸透していることの証です。今後も、「人のぬくもりと心の豊かさが実感できる西海市」を目指し、人権・同和教育の推進を図ってください。

- 「は・あ・と・ふ・る運動」推進大会と名称を変更したことは、大変意義深いことだと思います。

先日、市内のA中学校の全生徒が、市社会福祉協議会などと取り組む「ハート触れ合い事業」の一環として、町内の一人暮らしの高齢者に贈る絵手紙を作成し、民生委員・児童委員と一緒に自宅に届けるという新聞記事が紹介されていました。まさに、「は・あ・と・ふ・る運動」の実践です。広く広報され、同様な取組が市内全中学校区に広まることを期待します。

### (3) 市民総ぐるみで取り組む教育力の向上

#### ① 家庭の教育力の向上

- 情報化が進捗し個々の価値観が多様化する中で、保護者が抱える子育ての悩みは複雑化しています。家庭教育学級での学びや市民総がかりの教育支援が必要です。家庭教育学級の開設ができなかったことは残念ですが、家庭の教育力向上に向けて県の事業を活用して様々な支援に繋げる取組を展開していることは高く評価できます。

#### ② 青少年の健全育成

- 西海市独自の「は・あ・と・ふ・る運動」を中心とした健全育成事業が実践されとても素晴らしいです。今後関係団体とさらに連携・情報共有を図りながら事業を展開して欲しいと思います。

### (4) 安心して学べる教育環境の構築

#### ① 安心して望ましい教育環境の実現

- 児童の登下校の見守りが保護者や地域の方々の連携のもと100%の成果を挙げていることは本当に素晴らしいことです。安心・安全の確保のうえからだけでなく、多くの人から見守られているという子供たちの安心感はとても大きなものがあると思います。
- 「放課後子ども教室」や「土曜学習」の実施を通して子供たちに安心・安全な居場所と学習の場の提供がなされていることは大いに評価できます。また、体験学習を実施する等の内容の工夫・充実も見られ、子供たちは幸せだと思います。本市においては、昔から「地域の子供は地域で育てる」というよき教育風土が継承されています。嬉しいことです。今後も事業の推進・充実を期待します。
- 奨学資金制度の運用により、教育の機会均等を図り、人材の育成に繋がっていることは、価値ある企画だと思います。
- ICTを活用した教育の推進が図られていることに敬意を表します。教員のICT活用能力も高まり、「個別最適な学び」「協働的な学び」に向けて学習環境の整備がなされています。タブレットや情報機器の安全で有効な活用については、保護者（PTA）と学校が一つになって推進されるよう期待します。

#### ② 安全で快適な教育施設の整備

- 予算の確保が伴いますが、引き続き子供目線での安心安全な望ましい教育環境の整備に努めてください。

### (5) 地域を支える文化・芸術、スポーツの振興

#### ① 文化・芸術活動の推進

- 文化祭や音楽祭等、様々な事業への積極的な支援により、文化芸術の振興が図られています。文化協会の会員数の増加はその証です。

#### ② 文化財の保存・保護・活用

- 地域に残る伝統文化・芸能等の継承が危惧されます。大きな事業になりますが、年次計画でデジタル映像化を図り、保存・継承に取り組むことを望みます。
- ③ 活力あるスポーツの振興
  - 生涯スポーツの観点からも、子供も高齢者も楽しくスポーツに触れる機会や場づくり等に尽力ください。
- ④ スポーツ環境の充実
  - 施設の老朽化が進んでいるところは、年次計画に基づき整備充実を図ってください。改修に当たっては、高齢者・障害者等市民が積極的に参加・使用しやすい施設・設備になるよう努めてください。

令和6年9月26日

一瀬 薫



### Ⅲ 自己点検・評価一覧表

---

#### 1 教育委員会の活動状況について

---

中項目	小項目	5年度	4年度	内容等
1 教育委員会の構成	① 構成数	5人	5人	うち、小中学校の保護者：1名
	② 平均年齢	60歳	59歳	43歳・1名、52歳・1名 64歳・2名、75歳・1名 (令和6年3月31日現在)
	③ 性別	男性 3名 女性 2名	男性 3名 女性 2名	
2 教育委員会会議の運営及び情報発信	① 会議開催数	15回	12回	定例・臨時教育委員会を15回開催した。
	② 会議傍聴者数	3人	2人	教育委員会会議の開催について、市ウェブサイト上に掲載するなど会議開催の周知を図った。
	③ 会議録の公表状況	15件	12件	教育委員会会議録を市ウェブサイトで公開した。
3 市長との連携	① 意見交換会の状況	2回	2回	7/27、10/24に開催された総合教育会議において、市長との意見交換を実施した。
4 教育機関等との連携	① 学校への訪問	13回	15回	次頁のとおり、13回の学校訪問を行い、延べ数で30名の教育委員の出席があった。
	② その他社会教育施設への訪問	0回	0回	令和5年度は実施できなかった。
	③ 長崎県教育委員会との意見交換	2回	3回	市町村教育委員会研究協議会等に参加した。
	④ 社会教育委員との意見交換	0回	1回	令和5年度は実施できなかった。
5 教育委員の自己研鑽	① 研修会への参加状況	2回	1回	九州地区市町村教育委員研修大会等に参加した。

小中学校訪問状況

年 月 日	曜日	学 校 名	参加委員数	備 考
令和5年4月7日	金	市内小学校	4名	入学式
令和5年4月7日	金	市内中学校	4名	入学式
令和5年5月14日	日	市内中学校	1名	体育大会
令和5年5月21日	日	市内小学校	1名	運動会
令和5年7月14日	金	西彼中学校	1名	研修会
令和5年10月1日	日	平島小中学校	1名	運動会
令和5年11月10日	金	雪浦小学校	5名	学校訪問
令和5年11月17日	金	大瀬戸小学校	1名	研究発表
令和5年11月30日	木	西彼中学校	1名	学校訪問
令和6年2月2日	金	西海北小学校	2名	研究発表
令和6年3月13日	水	平島中学校	1名	卒業式
令和6年3月14日	木	市内中学校	3名	卒業式
令和6年3月18日	月	市内小学校	5名	卒業式
計			30名	

長崎県教育委員会との意見交換

年 月 日	曜日	研修会名称	参加委員数	備考
令和5年5月29日	月	長崎県市町村教育委員会連絡協議会総会及び合同研修会	4名	
令和5年7月18日	火	長崎県・市町教育長キックオフ会議	1名	
計			5名	

研修会への参加状況

年 月 日	曜日	研修会名称	参加委員数	備考
令和5年8月3日 令和5年8月4日	木 金	九州地区市町村教育委員会研修大会	4名	
令和5年11月17日	金	長崎県市町村教育委員研究大会	3名	
計			7名	

---

## 2 教育委員会が管理・執行する事務について

---

中項目		活動指標	5年度	4年度	内容等
1	教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること	検討件数	3件	2件	第2期西海市スポーツ推進計画の策定、西海市史跡ホグット石鍋製作遺跡保存活用計画の策定について審議した。
2	教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること	検討件数	31件	19件	教育委員会規則12件、告示15件、訓令4件について制定改廃を行った。
3	教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること	検討件数	2件	1件	幼保連携型認定こども園の廃止及び西海市立平島小中学校の休校について審議した。
4	教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること	検討件数	4件	4件	市内小中学校教職員の人事異動等について審議した。
5	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること	検討件数	1件	1件	教育委員会の自己点検・評価について審議した。
6	教育に関する歳入歳出予算及び議会の議決を得るべき事件に関する意見の申し出に関すること	予算関係検討件数	7件	8件	当初予算及び補正予算について審議した。
		条例関係検討件数	4件	0件	西海市部活動の地域移行あり方検討委員会設置条例の制定等について審議した。
		その他検討件数	4件	4件	公用車の事故に係る損害賠償の額を定め、和解することについて審議した。
7	通学区域の決定又は変更に関すること	検討件数	0件	0件	令和5年度該当なし。
8	教科用図書の採択及び教材の取扱に対する方針を定めること	検討件数	1件	0件	小学校教科用図書の採択について審議した。

中項目		活動指標	5年度	4年度	内容等
9	県費負担に係る教職員の任免その他の進退について内申すること	検討件数	0件	0件	令和5年度該当なし。
10	教育委員会の所管に属する各種委員会の委員の任命又は委嘱に関する事	検討件数	23件	29件	西海市就学支援委員会委員の委嘱等の委嘱について審議した。
11	市文化財の指定又は解除に関する事	検討件数	2件	0件	西海市指定天然記念物の指定の解除について審議した。
12	学校その他の教育機関の敷地の選定及び変更を決定すること	検討件数	0件	0件	令和5年度該当なし。
13	1件1,000万円を超える事業計画に関する事	検討件数	1件	2件	令和5年度に実施する大型事業について審議した。
14	教育財産の取得及び処分について市長に申出を行う事	申出件数	3件	0件	教育財産の用途廃止等について審議した。
15	その他	検討件数	1件	1件	教育文化スポーツ功労表彰について審議した。
	計		87件	71件	

## (参考) 西海市教育委員会議案等一覧

会議	種別	番号	件名	結果	中項目
第4回 定例会	議案	第21号	西海市就学支援委員会委員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第22号	西海市いじめ等調査委員会委員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第23号	西海市教科書採択協議会委員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第24号	西海市立小・中学校省令主任等の任命について	原案可決	10
	議案	第25号	西海市史跡ホゲツト石鍋製作遺跡保存活用計画策定委員会委員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第26号	西海市就学援助規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	2
	議案	第27号	西海市スポーツ活動費補助金交付要綱等の一部を改正する告示の制定について	原案可決	2
	議案	第28号	西海市教育委員会研究委託事業実施要綱の一部を改正する訓令の制定について	原案可決	2
	議案	第29号	西海市教育委員会事務決済規程の一部を改正する訓令の制定について	原案可決	2
第5回 定例会	議案	第30号	幼保連携型認定こども園の廃止に係る意見の申し出について	原案可決	3
	議案	第31号	西海市結核対策委員会委員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第32号	西海市立小学校及び中学校における学校評議員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第33号	西海市立小学校及び中学校における地区学校評価委員会委員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第34号	西海市立学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第35号	西海市学校運営協議会委員(西海市立大串小学校、西彼北小学校、西海北小学校、西海小学校、大崎小学校、大瀬戸小学校、江島中学校及び平島小中学校)の委嘱について	原案可決	10
	議案	第36号	西海市公民館長、主事及び書記の委嘱について	原案可決	10
	議案	第37号	西海市スポーツ推進審議会委員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第38号	西海市文化財保護審議会委員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第39号	西海市奨学生選考委員会委員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第40号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について(西海市部活動の地域移行あり方検討委員会設置条例の制定について)	原案可決	6
	議案	第41号	西海市立学校給食共同調理場運営委員会規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	2
	議案	第42号	西海市離島高校生修学支援事業費補助金交付要綱の制定について	原案可決	2
	議案	第43号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について(教育費補正予算第1号)	原案可決	6
	報告	第1号	令和4年度教育費補正予算(第11号)に係る臨時代理の承認について	原案承認	6

会議	種別	番号	件名	結果	中項目
第6回 定例会	議案	第44号	西海市通学路安全推進会議委員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第45号	西海市社会教育委員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第46号	西海市公民館運営審議会委員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第47号	西海市立図書館協議会委員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第48号	西海市公民館公衆無線LANサービスの利用に関する要綱の一部を改正する告示の制定について	原案可決	2
	報告	第2号	教育総務課公用車の事故に係る損害賠償の額を定め、和解することに係る臨時代理の承認について	原案承認	6
	議案	第49号	職員の処分について	原案可決	4
第7回 定例会	議案	第50号	西海市部活動の地域移行あり方検討委員会設置条例施行規則の制定について	原案可決	2
	議案	第51号	西海市学校給食原油価格・物価高騰緊急支援事業補助金交付要綱の制定について	原案可決	2
第1回 臨時会	議案	第52号	西海市青少年スポーツ振興臨時特例事業費補助金交付要綱の制定について	原案可決	2
第8回 定例会	議案	第53号	令和4年度西海市教育委員会自己点検・評価について	継続審議	—
	議案	第54号	西海市学校・家庭・地域の連携協力推進事業運営委員会委員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第55号	令和6年度使用小学校教科用図書の新採択について	原案可決	8
	議案	第56号	行政財産の用途廃止及び所管換について	原案可決	14
	議案	第57号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（教育費補正予算第2号）	原案可決	6
	議案	第58号	第2期西海市スポーツ推進計画の策定について	原案可決	1
第9回 定例会	議案	第59号	西海市図書館管理運営規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	2
	議案	第60号	西海市教育委員会会計年度任用職員の任用等に関する規則の一部を改正する規則の制定について任用等に関する規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	2
	議案	第61号	西海市部活動の地域移行あり方検討委員会委員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第62号	西海市部活動の地域移行あり方検討委員会委員への諮問について	原案可決	1
	報告	第3号	令和4年度西海市一般会計（教育費）決算認定について	原案承認	6
	議案	第63号	職員の処分に関する諮問について	原案可決	4
第10回 定例会	議案	第53号	令和4年度西海市教育委員会自己点検・評価について	原案可決	5
	議案	第64号	西海市学校医の委嘱について	原案可決	10
	議案	第65号	西海市文化大会等参加補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について	原案可決	2
	議案	第66号	職員の処分について	原案可決	4

会議	種別	番号	件名	結果	中項目
第11回 定例会	議案	第67号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（財産の無償譲渡について）	取り下げ	—
	議案	第68号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（教育費補正予算第3号）	原案可決	6
第12回 定例会	議案	第69号	令和5年度教育・文化・スポーツ功労表彰被表彰者の決定について	原案可決	15
	議案	第70号	西海市立小学校及び中学校処務規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	2
	議案	第71号	西海市適応指導教室設置要綱の一部を改正する告示の制定について	原案可決	2
第1回 臨時会	議案	第1号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（教育総務課マイクロバスの事故に係る損害賠償の額を定め、和解することについて）	原案可決	6
	議案	第2号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（財産の無償譲渡について）	原案可決	6
第1回 定例会	議案	第3号	西海市指定天然記念物の指定の解除に関する西海市文化財保護審議会への諮問について	原案可決	11
第2回 臨時会	議案	第4号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（幼保連携型認定こども園の廃止の時期の変更について）	原案可決	6
第2回 定例会	議案	第5号	西海市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について	原案可決	10
	議案	第6号	西海市立平島小学校及び平島中学校の休校について	原案可決	3
	議案	第7号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（西海市公民館の設置及び管理に関する条例及び西海市立小学校及び中学校体育施設利用条例の一部を改正する条例の制定について）	原案可決	6
	議案	第8号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（西海市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について）	原案可決	6
	議案	第9号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（西海市債権管理条例の一部を改正する条例の制定に伴う西海市奨学資金貸付基金条例の一部を改正する条例の制定について）	原案可決	6
	議案	第10号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（教育費補正予算第6号）	原案可決	6
	議案	第11号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（令和6年度教育費予算）	原案可決	6
	議案	第12号	太田尾・塔の尾プール運営補助金交付要綱を廃止する告示の制定について	原案可決	2
	議案	第13号	西海市内高等学校魅力向上支援事業補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について	原案可決	2
	議案	第14号	西海市教育委員会文書規程の一部を改正する訓令の制定について	原案可決	2
	議案	第15号	令和6年度教職員人事異動について	原案可決	4

会議	種別	番号	件名	結果	中項目
	議案	第16号	西海市スポーツ推進委員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第17号	西海市史跡ホグット石鍋製作遺跡保存活用計画の策定について	原案可決	1
	議案	第18号	令和6年度教育委員会所管大型事業に係る事業計画について	原案可決	13
	議案	第19号	行政財産の用途廃止について（平島公民館）	原案可決	14
	議案	第20号	教育財産の用途廃止について（平島小学校多目的ホール）	原案可決	14
	議案	第21号	西海市指定天然記念物の指定の解除について	原案可決	11
	議案	第22号	西海市学校運営協議会規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	2
	議案	第23号	西海市学校給食費徴収規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	2
	議案	第24号	西海市立学校施設使用条例施行規則の制定について	原案可決	2
	議案	第25号	西海市教育委員会会計年度任用職員の任用等に関する規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	2
	議案	第26号	西海市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	2
	議案	第27号	西海市教育委員会事務補助執行に関する規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	2
	議案	第28号	西海市修学旅行特別対策事業費補助金交付要綱を廃止する告示の制定について	原案可決	2
	議案	第29号	西海市学校教育活動費補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について	原案可決	2
	議案	第30号	さきとスケッチ大会事業費補助金交付要綱を廃止する告示の制定について	原案可決	2
	議案	第31号	西海市スポーツ大会出場補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について	原案可決	2
	議案	第32号	西海市青少年スポーツ振興補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について	原案可決	2
	議案	第33号	西海市教育委員会研究委託事業実施要綱の一部を改正する訓令の制定について	原案可決	2
	議案	第34号	西海市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令の制定について	原案可決	2



---

### 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務について

---

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進			S D G s	 	
主要事業	学力の向上					
施策の方向性	全国・県・西海市学力調査の課題分析による授業改善					
成果指標	「授業実践の視点」をふまえた教諭等による研究授業の実施率					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	—	100%	100%	100%	—	
事業内容・成果	教師の授業力の向上を目指し、すべての教職員が研究授業を実施した。授業後は、校長、教頭をはじめ、学力向上スーパーバイザーによる指導の場を設定することで、授業者が「授業実践の視点ver.2」を基にした振り返りを行い、日々の授業改善に努めることができた。				評価	A
課題・方向性	今後は、必要に応じて「授業実践の視点ver.2」の内容の見直しを図ることで、学習指導要領に沿った授業改善を推進していくことができるようにする。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進			S D G s	 	
主要事業	学力の向上					
施策の方向性	キャリア教育の推進					
成果指標	「夢・あこがれ・志」を育むための具体的な教育活動の実施率					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	—	
事業内容・成果	将来の生き方を視野に入れ、「夢・あこがれ・志」をもった児童生徒を育てるために、計画的な進路指導や職場体験、キャリアパスポートの活用により、キャリア教育の充実を図った。				評価	A
課題・方向性	社会の変化に対応し、たくましく生き抜くことができる児童生徒を育成するため、計画的にキャリア教育に取り組む。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進		S D G s		
主要事業	学力の向上				
施策の方向性	家庭での学習時間と内容の充実				
成果指標	塾等を含む平日の家庭学習時間達成率（小低30分、小中45分、小高60分、中120分）				
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)
	小低：－ 小高：－ 中学：－	小低：－ 小中：63% 小高：50% 中学：30%	小低：－ 小中：41% 小高：43% 中学：27%	小低：100% 小中：100% 小高：100% 中学：100%	－
事業内容・成果	学力向上の重点課題として「家庭学習の質的・量的な充実」を掲げ、各学校で「家庭学習の手引き」等を作成して取り組んでいるが、達成率は伸び悩んでいる。				評価
課題・方向性	市内児童生徒の目標値である発達段階に応じた家庭学習時間については、校長会をはじめ各研修会で改めて周知する。また、家庭学習の充実には家庭の意識を高めることが必要不可欠であるため、各学校において様々な機会を捉えて保護者への啓発に努めるよう指導するとともに、市の取組として「放課後オンライン学習会」や「A Iドリルを活用した家庭学習の一斉配信」を実施することで、家庭学習の質的・量的な充実に向けた具体策を講じていく。				
					C

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進		S D G s		
主要事業	特別支援教育の充実				
施策の方向性	専門機関等との連携による特別支援教育研修の充実				
成果指標	研修の充実度				
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)
	－	100%	100%	100%	－
事業内容・成果	市が実施する特別支援教育に関する研修会では、今年度も鶴南特別支援学校高等部西彼杵分教室の特別支援教育コーディネーターによる講義や指導教諭による講義及び演習を通して研修を深めた。また、2回実施した合同特別支援教育研修会では、幼稚園から高校までの特別支援教育コーディネーターが、特別支援教育の充実に向けて必要な共通理解を図ることができた。				評価
課題・方向性	特別支援教育への理解は、すべての教職員に求められるものである。そのため、学校内での特別支援教育コーディネーター等の役割は大変重要である。特別支援教育を担当する教職員の指導力を保つためにも、経験や力量に応じた研修のあり方を適宜見直しながら、研修内容の充実に努める。				
					A

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進		S D G s			
主要事業	特別支援教育の充実					
施策の方向性	校内支援体制の充実					
成果指標	学習支援員配置充足度					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	85%	100%	100%	100%	19,162	
事業内容・成果	児童生徒の状況やニーズに応じて、担任や特別支援教育コーディネーターと連携しながら、意図的・計画的な校内の支援を可能にするため、計21名の学習支援員を、小学校9校及び中学校4校に配置した。				評価	A
課題・方向性	通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒は年々増加傾向にある。また、特別支援学級についても、異学年の児童生徒が複数在籍していることや、障害の程度の違いから、担任一人での対応が困難な状況にあることもあり、学校からの要望数も多くなってきている。今後も各学校の実態把握に努め、状況等に応じた適切な配置に努めていく。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進		S D G s			
主要事業	特別支援教育の充実					
施策の方向性	相談体制の充実					
成果指標	相談に基づく専門機関との連携実施率					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	—	83%	100%	100%	—	
事業内容・成果	各機関との連携として、西海市就学相談会2回、就学支援委員会3回、療育機関就学ガイダンス6回、市内幼・保・認こ・小・中・高の特別支援教育コーディネーター合同研修会2回実施した。特別支援学校の教員が参加する研修会を実施したことが専門機関との連携、相談体制の充実につながり、各学校における特別支援学校への相談や地域支援事業の積極的な活用につながった。また、関係機関からの求めに応じた相談にも対応できた。				評価	A
課題・方向性	今後も県及び他市町の専門機関との連携を生かした研修会の実施や本市の専門機関との連携強化に努め、相談体制の充実を図っていく。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進			S D G s	  	
主要事業	特色ある学校づくりの推進					
施策の方向性	グローバル化に対応した英語教育の推進					
成果指標	長崎県学力調査（中学校英語）で60%以上理解している生徒の割合					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	—	32%	—	55%	—	
事業内容・成果	英語を母国語とする5名のALTと1名の英語教育指導員が、英語科担当又は担任教諭とともに英語指導を行った。実際のコミュニケーションで生かされる英語表現に触れることで、英語学習への意欲向上と国際理解を深めることにつながった。令和5年度は、県学力調査の実施はなかったため、成果指標なし				評価	B
課題・方向性	全国学力調査の結果を踏まえると、中学校の英語科において、学んだことの定着や活用には大きな課題がある。特に、読む、書く領域における定着、向上が重要課題である。今後は、英語科教員の指導力向上に向けた取組として、指導主事による各学校訪問（授業参観と指導助言）、定期的な教科研修会等を実施し、市全体の英語力向上に努める。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進			S D G s	  	
主要事業	特色ある学校づくりの推進					
施策の方向性	グローバル化に対応した英語教育の推進					
成果指標	エンジョイ！イングリッシュ、エンジョイ！イングリッシュ in 西海の実施					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	—	100%	100%	100%	251	
事業内容・成果	グローバル化社会を主体的に生き抜く生徒を育成することを目的に、すべての中学校で1年生または2年生を対象に「エンジョイ！イングリッシュ in 西海」を実施した。生徒が外国人指導者とコミュニケーションを図る楽しさを十分に味わうことにより、話すことへの意欲の高まりと、日々の学習への前向きな取組につながった。				評価	A
課題・方向性	学習指導要領では、外国語によるコミュニケーションを図る資質・能力を育成することが大きな目標となっている。生徒の英語力の向上、グローバル化に向けた英語教育の推進のために、引き続き実施する。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進		SDGs	  	
主要事業	特色ある学校づくりの推進				
施策の方向性	地域の産業に携わる人材の活用				
成果指標	西海市の産業に携わる人材を教育活動で活用した学校の割合				
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)
	—	100%	100%	100%	—
事業内容・成果	地域に根ざした特色ある学校づくりを一層推進するために、地域の方や企業等と学校が連携し、総合的な学習の時間や社会科等の学習において地域人材を活用した授業や体験活動を工夫して実施した。			評価	A
課題・方向性	さらに地域の人材を活かすために、開かれた学校づくりや連携しやすい学校の環境づくりに努めるとともに、地域の産業に関する情報を学校に向けて発信していく。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進		SDGs		
主要事業	道徳教育の充実				
施策の方向性	道徳教育に関する研修の推進				
成果指標	教職員を対象とした研修会の実施				
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)
	1回	1回	1回	1回以上	—
事業内容・成果	令和5年度は、県主催の「道徳教育推進に係る指導主事派遣事業」を活用し、10月に各校の道徳教育推進教師を対象とした市独自の研修会を実施した。研修会では、各小・中学校から各1名の参加があり、研修内容を各学校の道徳教育推進に還元することができた。			評価	A
課題・方向性	引き続き、市主催研修会の実施や各学校における道徳教育の推進状況についての情報交換や協議を行い、研修の充実を図る。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進		S D G s			
主要事業	道徳教育の充実					
施策の方向性	道徳教育の場の充実					
成果指標	体験的な活動を道徳教育の内容項目と関連させた学校の割合					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	—	100%	100%	100%	—	
事業内容・成果	各学校の教育方針、年間計画に基づき、道徳的価値に関する体験的な活動等を取り入れた実践を全ての学校で展開し、道徳的諸価値の理解、道徳的実践力の育成につながった。				評価	A
課題・方向性	児童生徒自らが成長を実感でき、道徳的実践力を高めることができるよう、今後も、職場体験学習やボランティア活動、自然体験活動などの体験活動を教育課程に位置付けて積極的に取り組んでいくよう指導していく。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進		S D G s			
主要事業	道徳教育の充実					
施策の方向性	道徳教育の場の充実					
成果指標	ハイパーQ Uテストのソーシャルスキル尺度の質問事項別回答において「いつでもしている」の回答が全国平均を超える割合					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	—	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	—	
事業内容・成果	「考え議論する道徳」に向けた授業改善と道徳的価値と関連させた体験的な活動の充実が、児童生徒の道徳的実践力を高めることにつながり、自己を振り返り、より良く生きようとする態度の育成につながった。				評価	A
課題・方向性	今後も、道徳教育推進教師を中心に効果的な指導について研究を続けるとともに、体験活動や情操を育む活動を積極的に取り入れ、地域の人々や保護者の授業への参加協力を得るなどして、活動の充実を図っていく。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進			SDGs	  	
主要事業	ふるさとを学ぶ教育の推進					
施策の方向性	ふるさとについて学ぶための副教材の充実					
成果指標	地域を学ぶ副教材の作成					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	小学校3年生 中学校1年生 に配付	小学校3年生 中学校1年生 に配付	小学校3年生 中学校1年生 に配付	小学校3年生 中学校1年生 に配付	292	
事業内容・成果	市内小学3年生(174人)、市内中学1年生(199人)に配付し、授業で活用することで、郷土を誇りに思い、ふるさとを愛する西海市の子供の育成に努めた。				評価	A
課題・方向性	自然、環境、歴史、行財政等、本市の最新情報を収集し、定期的に副教材の編集を重ねながら、ふるさとをより良く理解し、愛着を持つことができる内容となるよう工夫する。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進			SDGs	  	
主要事業	ふるさとを学ぶ教育の推進					
施策の方向性	各校の特色に応じた「西海学」の展開					
成果指標	創意工夫ある「西海学」を実施した学校の割合					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	100%	55%	60%	100%	443	
事業内容・成果	各小学校の実情や地域の特色に応じて、社会科や総合的な学習の時間等において、内容や実施学年を工夫し、ふるさとについて学ぶ学習を展開した。小学校10校中、6校が実施した。年度当初の計画不足により4校は実施できなかった。				評価	B
課題・方向性	「西海学」のあり方について整理し、各小学校と「西海学」の目的や意義について再確認し、これまで実施してきた取組を全ての小学校に紹介することで、児童が「ふるさと」に対する理解や愛着を深める「西海学」の実施を支援していく。令和6年度は、年度当初から各学校の教育課程に位置付けさせ、全小学校で実施するようにする。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進			S D G s	 	
主要事業	読書活動の推進					
施策の方向性	平日の読書習慣の確立					
成果指標	平日の読書時間の割合（1日30分以上）					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	小6：30.2% 中3：34.2%	小6：32.3% 中3：27.7%	小6：23.3% 中3：40.9%	小6：100% 中3：100%	—	
事業内容・成果	目標値には及ばないものの中学校の数値が増加した。学校図書館司書及び学校図書館運営補助員の配置が、日々の図書館運営の充実につながっていると考える。				評価	C
課題・方向性	平日の読書時間としては、朝の読書活動以外の個々の読書時間の確保が課題である。司書や補助員の効果的活用による魅力ある図書館づくりや取組について更なる充実を図るとともに、今後は、読み語りボランティアとの連携、親子読書の呼びかけ等の工夫にも力を入れる。小学校における読書時間の割合低下については、学校図書館運営補助員の配置数減の影響も少なからずあると考えられるため、任用数について再検討を図る。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進			S D G s	 	
主要事業	読書活動の推進					
施策の方向性	蔵書率の充足					
成果指標	「学校図書館図書標準」等による標準冊数達成率					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	小：119.4% 中：99.1%	小：119.9% 中：106.9%	小：113.9% 中：110.0%	100%以上	3,895	
事業内容・成果	西海市学校図書館運営マニュアルに基づき、各学校で蔵書点検を行うとともに、学校図書館図書廃棄基準を参考に、図書の廃棄作業を適切に進め、児童生徒に必要な図書を整備することができた。				評価	A
課題・方向性	図書の計画的な廃棄と新規購入を行い、魅力的な本が並ぶ図書館運営を続け、読書活動の推進を図る。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進			S D G s	 	
主要事業	読書活動の推進					
施策の方向性	学校図書館司書等の適正配置と研修の充実					
成果指標	本土部の学校に学校図書館司書等を配置する割合					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	100%	100%	100%	100%	10,847	
事業内容・成果	市内小・中学校の読書活動推進のため、学校図書館司書及び学校図書館運営補助員を本土部の各小・中学校に配置している。そのことにより、読書に関する指導や環境づくりの充実を図ることができた。				評価	A
課題・方向性	今年度も、本土部の全ての学校に学校図書館司書等を配置することができた。また、研修会を定期的実施し、司書等の共通理解や創意工夫を凝らした環境作り、読書活動の推進に繋ぐことができた。しかしながら、司書等の兼務校数が増加し、現在の状況を維持することが難しくなっている。今後、任用数増を視野に入れた検討を行う。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進			S D G s	 	
主要事業	不登校等の子どもへの支援					
施策の方向性	教育相談体制の整備					
成果指標	不登校児童生徒の改善率					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	50%	17%	24%	100%	—	
事業内容・成果	心の教室相談員を本土部4中学校に配置するとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門家による教育相談体制を整備し、不登校に対する初期対応及び自立支援の充実を図った。心の教室に別室登校できることや、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの相談の機会を充実させることにより、不登校やその傾向にある児童生徒の登校へのきっかけとなった。				評価	D
課題・方向性	不登校の要因が多様化し、学校だけでの対応が困難なケースが増え、長期化しやすい傾向にある。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを講師とした研修会を行い、児童生徒と直接関わる教職員の資質向上に努める。不登校やその傾向の見られる児童生徒の実態を詳細に把握し、効果的な働きかけにつながるよう、各学校の体制づくりを支援していく。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進			SDGs	 	
主要事業	不登校等の子どもへの支援					
施策の方向性	「西海市教育支援センター」の充実					
成果指標	西海市教育支援センター指導員の適切な配置					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	1名	1名	2名	1名	3,278	
事業内容・成果	不登校児童生徒に対して、状況に応じた適切な相談や指導を行うとともに、社会適応力を育てるために、西海市教育支援センターを、大島教室、西彼教室に開設し、指導員をそれぞれに1名配置した。大島教室には学習支援員も1名配置し、より丁寧な支援を行うことができた。				評価	A
課題・方向性	児童生徒が安心して学校復帰に向けた支援を受けられる体制の整備及び維持に努める。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進			SDGs	 	
主要事業	いじめや差別のない学校づくり					
施策の方向性	いじめを見逃さない、安心して過ごせる学校づくり					
成果指標	いじめ解決の割合					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	小100% 中100%	小100% 中100%	小100% 中100%	小100% 中100%	—	
事業内容・成果	すべての小・中学校において策定している「いじめ防止基本方針」に則り、いじめが起こった場合は、適切に対応できている。また、児童生徒に対し、定期的にアンケートを実施することによって、児童生徒の状況把握といじめの早期発見につながった。いじめ認知件数は、令和4年度から2件減少した。				評価	A
課題・方向性	人権教育及び児童生徒理解に関する研修を推進し、いじめの早期発見・早期解決に向けた体制づくりの充実と継続に努める。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進			S D G s	 	
主要事業	いじめや差別のない学校づくり					
施策の方向性	いじめ防止対策の推進					
成果指標	学校におけるいじめの問題に対する日常の取組実施率					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	小69% 中61%	小100% 中100%	小100% 中100%	小100% 中100%	—	
事業内容・成果	すべての小・中学校において策定している「いじめ防止基本方針」に則り、いじめが起こった場合は、適切に対応できている。また、児童生徒に対し、定期的にアンケートを実施することによって、児童生徒の状況把握といじめの早期発見につながった。いじめ認知件数は、令和4年度から2件減少した。				評価	A
課題・方向性	日常的な取組が組織的に展開できているため、今後も、早期発見に向けた体制づくりと、支持的風土のある教育環境づくりへの指導、未然防止に力を入れていく。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	健康で安全な学校生活の実現			S D G s	  	
主要事業	健康教育、安全教育、防災教育の推進					
施策の方向性	健康教育の推進					
成果指標	朝ご飯を毎日食べて登校する児童・生徒の割合					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	小：98.7% 中：96.8%	小：94.3% 中：95.6%	小：94.7% 中：92.1%	100%	—	
事業内容・成果	令和4年度と比較すると中学校の割合は減少しているが、朝食を毎日食べて登校する児童・生徒の割合は、全国や県の実態と比較すると高い水準を保っている。				評価	B
課題・方向性	朝食を食べる児童生徒を100%にすることが健康教育の第一歩であることを市内全校に周知徹底する。朝食の意義については、食育指導の時間等を活用して児童生徒に直接働きかけ、実践化につなげていくようにする。さらに、朝食の意義を全ての家庭に共有するために、「は・あ・と・ふ・る運動」への意識付けを強化していく。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	健康で安全な学校生活の実現				S D G s		
主要事業	健康教育、安全教育、防災教育の推進						
施策の方向性	健康教育の推進						
成果指標	う歯罹患者の割合						
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)		
	小：17.2% 中：39.1%	小：4.7% 中：21.8%	小：5.3% 中：20.4%	小：15%以下 中：30%以下	—		
事業内容・成果	全小・中学校で、フッ化物洗口の取組を継続して実施しており、う歯罹患者の割合は、目標値を十分に達成しており、小学校、中学校ともに改善した。					評価	A
課題・方向性	市の保健部局等と連携し、フッ化物洗口の取組を支援する。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課	
主要施策	健康で安全な学校生活の実現				S D G s		
主要事業	健康教育、安全教育、防災教育の推進						
施策の方向性	安全教育の推進、防災教育の推進						
成果指標	避難訓練の実施率						
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)		
	100%	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	100%	—		
事業内容・成果	警察・消防等の関係機関と連携し、自然災害、火災、不審者対策等の避難訓練や引き渡し訓練等、各学校の実態に応じた訓練を実施することができた。					評価	A
課題・方向性	学校の実態に応じた自然災害や火災、不審者対策等の避難訓練を推進し、関係機関と連携した安全教育に努める。						

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	健康で安全な学校生活の実現			S D G s	 	
主要事業	学校体育の充実と体力の向上					
施策の方向性	児童生徒の体力の向上					
成果指標	体力テストの結果において、全国平均を上回った種目の割合					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	46.7%	56.6%	67.6%	60%	—	
事業内容・成果	瞬発力や筋力については、多くの学校で全国平均を上回っていた。柔軟性については、関連する補強運動等を体育の授業の準備運動として行うことで改善が見られた。				評価	A
課題・方向性	上体起こしや長座体前屈の種目で全国平均を下回っているため、継続した取組が必要であり、児童生徒の体力の分析や実態に応じた指導計画の見直し及び授業での実践につながるよう指導していく。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	健康で安全な学校生活の実現			S D G s	 	
主要事業	学校体育の充実と体力の向上					
施策の方向性	部活動指導者の指導力の向上					
成果指標	部活動指導者講習会の実施					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	0回	2回	2回	2回以上	7	
事業内容・成果	部活動顧問や部活動指導員等を対象に研修会を年2回開催した。部活動の指導に携わる者が、知・徳・体のバランスのとれた児童生徒を育成するために、部活動指導等と環境づくりのあり方について考え、指導力及び資質の向上を図る貴重な機会となった。				評価	A
課題・方向性	平成30年度から令和5年度まで5年連続で年2回の研修会を継続している。これまで、講師にはメンタルトレーナーやアスレチックトレーナー、スポーツ栄養士に依頼してきたが、今後の研修会の充実に向け、講師選定についても工夫していく必要がある。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	健康で安全な学校生活の実現			S D G s	  	
主要事業	学校給食・食育の充実					
施策の方向性	安全な食材の確保					
成果指標	西海市産の農産物の使用率					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	59.5%	74.8%	75%	70%	—	
事業内容・成果	地場産物の使用について、栄養教諭や学校栄養職員、各学校給食共同調理場の職員は高い意識をもっている。地場産物の使用は、納入量の確保や価格面の課題、作業工程の煩雑さ等の課題も多い中、目標値を超える使用率を維持し、地元食材を有効活用した献立を実施できた。				評価	A
課題・方向性	安全な食材を確保するため生産者等と協議し、西海市産の農産物の使用を推進する。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	健康で安全な学校生活の実現			S D G s	  	
主要事業	学校給食・食育の充実					
施策の方向性	食育の推進					
成果指標	学校における食育に関する行事の実施率					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	85.7%	93.3%	86%	100%	—	
事業内容・成果	コロナ禍が落ち着き、以前のように給食集会等の取組が見られ、小学校においては実施率100%を達成した。中学校においては、食育に関する指導はすべての中学校において実施できているが、行事の実施としては、一部の学校での実施にとどまった。				評価	B
課題・方向性	栄養教諭や学校栄養教員との連携、家庭や地域との連携により、食に関する指導を充実させ、食生活を向上したり、食に関する関心を高めたりする取組を継続する。また、中学校においても、毎年度全ての中学校で実施している食育に関する指導を生かし、行事等の取組へと活動の範囲を広げる。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	健康で安全な学校生活の実現			S D G s		
主要事業	学校給食・食育の充実					
施策の方向性	学校給食施設の適正化					
成果指標	学校給食共同調理場の適正化					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	未策定	策定済	策定済	適正化	—	
事業内容・成果	西海市まちづくり構想策定支援事業を活用して防災機能を有した「防災食育施設」を整備するため、市長部局と連携し、九州防衛局との協議を重ね、実施計画を策定した。				評価	A
課題・方向性	引き続き、市長部局と連携して円滑に事業を実施していく。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	教職員の資質の向上			S D G s		
主要事業	教職員研修の充実					
施策の方向性	定期研修会の充実					
成果指標	定期研修会での充実度割合					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	—	100%	100%	100%	—	
事業内容・成果	各省令主任の研修会において、それぞれが果たすべき役割について確認したり、今日的課題への対応についてグループ協議や情報交換等を位置付けたりして実施することにより、役割意識や学校運営への参画意識を高めることにつながった。				評価	A
課題・方向性	各省令主任、養護教諭、栄養教諭及び特別支援コーディネーター等を対象とした定期研修会の内容について、近年の教育課題から本市に必要なものを取り上げ、学校の実態や児童生徒の教育的ニーズに応じた効果的な研修を展開できるようにしていく。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	教職員の資質の向上		S D G s			
主要事業	教職員研修の充実					
施策の方向性	選択制研修会の充実					
成果指標	選択制研修会の実施回数					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	4回	4回	4回	5回	—	
事業内容・成果	夏季休業中に、教職員の指導力や資質の向上を目的として、選択研修では「不登校等対応」「ICT活用」の2つの研修会を実施した。また、西海市独自の研修会として、「学びの土台づくり」講演会を2回実施した。				評価	B
課題・方向性	夏季休業期間は教職員にとって絶好の研修機会であると捉え、教職員個人の興味・関心・意欲に応じた研修を選択できるようにする。そのため、今後は、近年の教育課題に対応し、かつ参加者のニーズに応じたものとなるよう、内容をより一層充実させていく必要がある。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	教職員の資質の向上		S D G s			
主要事業	校内研修の推進					
施策の方向性	校内研修の充実					
成果指標	校内研修への指導主事及び教科等指導員の派遣実施回数					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	52回	89回	57回	55回	—	
事業内容・成果	令和5年度は、各学校の研究内容に応じて指導主事を22回派遣し、指導助言を行った。また、学校訪問において、指導主事及び教科等指導員による指導助言を延べ35回実施し、教職員の資質向上、指導力向上につながった。				評価	A
課題・方向性	校内研修や学校訪問等における指導主事や教科等指導員による授業参観及び指導助言により、教職員の指導力向上を図る。特に、各校の校内研修を通して、それぞれの学校の課題に応じた新しい教育情報や授業改善につながる指導法を示すことで、具体的な実践と教職員の資質向上につなげていく。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	教職員の資質の向上		S D G s		
主要事業	校内研修の推進				
施策の方向性	研究指定校の支援				
成果指標	研究指定校数				
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)
	5校	4校	4校	6校	499
事業内容・成果	令和5年度は、大瀬戸小・西海中「学力向上」、西海北小・西彼中「学びの土台づくり」を研究校に指定し、そのうち2校が研究発表会を開催し、研究の成果を西海市内の小・中学校に示すことができた。				評価 B
課題・方向性	今後は、研究指定校数や研究内容を検討し、確かな研究成果につながるよう支援していくとともに、研究成果を市内の全学校に発信し、市全体での共通実践につなげていく。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	幼児教育の推進		S D G s		
主要事業	幼・保・認こ・小連携の推進				
施策の方向性	幼稚園・保育所（園）等と小学校とのより一層の連携推進				
成果指標	幼・保・認こ・小の教職員間の連携の実施割合				
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)
	—	100%	100%	100%	—
事業内容・成果	幼稚園・保育所（園）・認定こども園・小学校の教職員同士の情報交換や引継ぎ、行事での交流等を小学校単位で計画し、実施できた。				評価 A
課題・方向性	今後、西海市幼保小連携推進協議会を設置し、幼稚園・保育所（園）・認定こども園・小学校の教職員同士の情報交換や交流学习等の連携を推進していく。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	幼児教育の推進			S D G s		
主要事業	幼・保・認こ・小連携の推進					
施策の方向性	幼・保・認こ・小・中・高の教職員の合同研修の機会の充実					
成果指標	幼・保・認こ・小・中・高の教職員合同研修の実施回数					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	1回	1回	2回	2回	—	
事業内容・成果	令和5年度は、幼・保・認こ・小・中・高合同の特別支援教育研修会を8月と2月の2回実施することができた。本市の幼稚園から高校までの特別支援教育コーディネーターが一堂に会し、県立特別支援学校の先生方からの指導助言や情報共有等を行うことができる貴重な機会となった。				評価	A
課題・方向性	今年度の2回目の研修会は、県教育センターの研究援助事業を活用し、講師を迎えて実施することができ、専門的な学びを深めることができた。幼稚園・保育所（園）・認定こども園の教職員が参加できるような体制づくり、共有すべき内容について研究し、今後も、研修機会の確保とともに内容の充実に向けて工夫していく。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	働き方改革の推進			S D G s	 	
主要事業	教職員の働き方改革の推進					
施策の方向性	学校の負担軽減と超過勤務時間の改善					
成果指標	超過勤務時間の把握及び業務負担軽減に取り組む学校の割合					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	—	100%	100%	100%	—	
事業内容・成果	学校教育課では、市内全教職員の勤務時間の把握に努め、毎月の校長会研修会や教頭会研修会において管理職員に向け、超過勤務縮減に向けた指導を継続して行った。学校においては、校務支援システムを活用した出退勤時刻の管理が定着し、職員の勤務状況の把握に有効に働いた。				評価	A
課題・方向性	県の超勤改善等対策会議における超過勤務時間の目標は、令和7年度までに「年間540時間超過勤務教職員」の割合を0%にすることである。現在、各小・中学校において進められている超過勤務時間の把握及び業務負担軽減への取組の更なる推進を図っていく。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	働き方改革の推進		S D G s	 	
主要事業	教職員の働き方改革の推進				
施策の方向性	中学校部活動に対する支援				
成果指標	部活動指導員の配置（人）				
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)
	—	6人	6人	8人	1,935
事業内容・成果	中学校保健体育科の教員経験がある者、教員免許取得予定がある者、部活動や地域文化・スポーツ等において将来小中学生の指導者等になることを志している大学生及び元外部指導者を、部活動指導員として市内本土部の4校に6名配置し、専門的な知識や技能を生かした指導等を行ったことで、部活動の充実と部活動顧問の負担軽減を図ることができた。			評価	A
課題・方向性	部活動指導員を配置したことにより、生徒が直接的な指導及び間接的な支援等を受けられるようになった。さらに、専門的な知識や技能を有していない教員の負担が軽減した。部活動のさらなる充実を図るために、今後も継続する必要がある。引き続き、必要とする学校への配置を行うとともに、令和8年度までに8名の配置を目指す。				

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課
主要施策	学習環境の充実	S D G s	  		
主要事業	社会情勢に対応した生涯学習の推進と学習環境の整備				
施策の方向性	学びを支援する体制の充実				
成果指標	情報機器操作やオンラインに関する研修、オンラインによる講座などの開設数				
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)
	—	1講座	1講座	1講座以上	—
事業内容・成果	社会教育課主催の講座として西彼教育文化センターにて「夏休み親子教室」【scratchを使ってオリジナルのゲームを作ろう】という佐世保高専の出前講座を実施した。			評価	A
課題・方向性	今後も生成型AIなど時代に即したDX関連の講座などをより積極的に取り組み目標を超える実績を目指していく。				

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課
主要施策	学習環境の充実	S D G s	  		
主要事業	社会情勢に対応した生涯学習の推進と学習環境の整備				
施策の方向性	学びを支援する体制の充実				
成果指標	社会教育講座開設数				
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)
	15講座	24講座	29講座	20講座以上	1,324
事業内容・成果	俳句教室、ヨガ教室、DIY講座、料理教室、囲碁チョンカ教室、タオル帽子、チャレンジ英会話社会教育課主催の各種講座を実施した。			評価	A
課題・方向性	講座数は目標を超過しているが、より幅広い世代向けの講座や時代に即した防災関連講座などを充実させ、より参加者に魅力ある取組を行う。				

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	学習環境の充実		SDGs	  		
主要事業	社会情勢に対応した生涯学習の推進と学習環境の整備					
施策の方向性	社会教育施設の適正な維持管理及び有効活用					
成果指標	既存社会教育施設整備事業の進捗率					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	—	年間1施設	1施設	年間2施設	14,388	
事業内容・成果	設備点検の際に更新の指摘があった多良地区公民館の受変電設備を改修と、R6年度施工予定である屋上防水や内装の改修のための設計業務を実施した。				評価	B
課題・方向性	社会教育施設（公民館及び図書館等）については、経年劣化が著しいため、長寿命化計画及び施設整備計画に基づき、効率的かつ適正な施設の維持管理に努めていく必要がある。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	学習環境の充実		SDGs	 		
主要事業	図書サービスの向上					
施策の方向性	蔵書の充実、レファレンス機能の充実					
成果指標	図書館利用者数					
	現況値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	32,879人	26,479人	28,909人	34,500人	6,362	
事業内容・成果	(利用者内訳 来館者数25,035人＋電子図書館ログイン数3,874人) 新型コロナウイルス感染症が5類に移行することや、「ぎゅぎゅっとさいかいフェス」での図書館イベントで魅力の発信、図書館利用者カード電子申請の導入、平日のみのお昼休館の撤廃など利用者の増加への工夫を行ったが、昨年度と比べ多少増加する結果となった。				評価	B
課題・方向性	一度離れた利用者を増やしていくために、市内向けの図書館独自イベントの企画や図書館の広報周知の新たな手法などを検討する。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課
主要施策	学習環境の充実		S D G s	 	
主要事業	図書サービスの向上				
施策の方向性	蔵書の充実、レファレンス機能の充実				
成果指標	貸出し資料数				
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)
	117,254冊	104,012冊	101,261冊	123,000冊	—
事業内容・成果	(貸出資料数内訳：実図書館貸出冊数98,005冊＋電子図書館冊数3,256冊)館内では、貸出実績に応じて遊べるイベントなど魅力向上等を行っているが、全体の貸出実績としては昨年度より減少している。電子図書館の実績については増加している。				評価 C
課題・方向性	コロナ禍で離れた利用者実績を増やせずにいるため、市内に向けた市立図書館を身近に感じてもらうためのイベントの開催や広報周知の方法について検討する。				

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課
主要施策	学習環境の充実		S D G s	 	
主要事業	図書サービスの向上				
施策の方向性	有資格者の配置の充実				
成果指標	有資格者の配置人数				
	現況値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)
	7人	5人	6人	8人	13,630
事業内容・成果	会計年度任用職員として任用しており、昨年度より1名増やすことができた。				評価 B
課題・方向性	現在任用中の職員のうち、資格を有していない職員への資格取得の働きかけなどを行う。				

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	学習環境の充実		SDGs	 		
主要事業	図書サービスの向上					
施策の方向性	電子図書館システムの利用促進					
成果指標	電子図書館における貸出し資料数					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	—	2,336冊	3,256冊	1,200冊	1,920	
事業内容・成果	サイト内の電子書籍の陳列や特集などの工夫や、また、図書部会において小中学校の図書担当の先生へ電子図書館の児童生徒への周知依頼を行った。昨年度より貸出実績を増やすことができた。				評価	A
課題・方向性	今後も、蔵書数を増やすための財源確保やパッケージ内の無料書籍を追加したり、サイト内の特集の企画など工夫しながら電子図書館の魅力向上に努める。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	学習環境の充実		SDGs	  		
主要事業	子どもの読書活動の充実					
施策の方向性	子どもの発達段階に応じた読書活動の推進					
成果指標	乳児健診時のブックスタート実施率					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	100%	100%	100%	100%	362	
事業内容・成果	文字や言葉の意味を理解する前の年齢から本に触れさせるため、絵本を通じたコミュニケーションの機会の提供など読書習慣の醸成を図った。				評価	A
課題・方向性	「第4次西海市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもたちの発達段階に応じた読書に親しむ機会の提供を行う。今後は、コロナ禍も明けたため、絵本の受け渡しだけでなく読み語りや保護者への説明も行いたい。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	学習環境の充実			SDGs	  	
主要事業	子どもの読書活動の充実					
施策の方向性	子どもの発達段階に応じた読書活動の推進					
成果指標	図書館まつりの開催					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	1回	1回	1回	1回以上	—	
事業内容・成果	「図書館まつり」として独自のイベント開催は業務負担などの課題から実施を見送ったが、「ぎゅぎゅっと！西海フェス」に市立図書館ブースを設け、ブックリサイクルのほか、図書館に関する情報、大型絵本の展示や電子図書館の体験コーナーを設置し、好評を得た。				評価	B
課題・方向性	「ぎゅぎゅっと！西海フェス」での図書館ブースでは、市外からの来場者が多かった、図書館利用者を増やしていく取り組みとしては、市内の図書館利用者や市民へのアプローチが重要なため、図書館職員との協議を進めながら、図書館の独自イベント開催を検討する。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	学習環境の充実			SDGs	  	
主要事業	子どもの読書活動の充実					
施策の方向性	団体貸出し、移動図書館の充実					
成果指標	団体貸出し、移動図書館の実施箇所数					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	—	団体25/33カ所 移動 7/13カ所	団体22/33カ所 移動8/13カ所	団体30/33カ所 移動10/13カ所	—	
事業内容・成果	概ね以前から利用している組織は変わっておらず、減少の理由としては、通う児童生徒や園児が減ったことによる休校、休園によるもの。				評価	C
課題・方向性	地域によっては小中学校や幼稚園保育園の統廃合、休園がある中で、遠隔地への団体貸出や移動図書館の充実を図るために現状の職員体制で対応可能か、業務負担が軽減できる機器の導入などの検討を行う必要がある。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	公民館活動の活性化			S D G s	  	
主要事業	公民館を核とした地域教育力の向上及びネットワークの整備					
施策の方向性	公立公民館及び自治公民館への支援による地域教育力の向上					
成果指標	自治公民館モデル事業実践館数					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	5館	9館	16館	16館	1,816	
事業内容・成果	<p>本事業は、モデルテーマに沿った自治公民館活動に対し、申請により補助金を交付している。</p> <p>市内自治公民館71館のうち17館が本事業を申請し、年度中に新型コロナウイルスなどの影響もあり事業規模縮小を余儀なくされた自治公民館もあったが、16館が事業を実施することができた。</p> <p>本事業の活用により、自発的な公民館活動の展開と住民協働の地域づくりが推進できた。</p>				評価	A
課題・方向性	<p>本事業を活用した取組みについては、先進的な活動を促すとともに未活用の館にも活用事例などの情報提供を促していく。また、本事業の更なる積極的な活用するための周知方法などを検討していく必要がある。</p>					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	公民館活動の活性化			S D G s	  	
主要事業	公民館等を活用した学習拠点づくり及びネットワークの整備					
施策の方向性	公民館役職員の育成とネットワーク体制整備による公民館機能の充実					
成果指標	公民館連絡会議の開催					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	1回	1回	1回	1回	54	
事業内容・成果	<p>公立公民館及び各地区公民館館長・主事・書記等、公民館役員の連携強化を図るため、連絡会議を開催した。公立公民館活動は感染症対策などのために満足な活動ができなかった。</p>				評価	B
課題・方向性	<p>今後は、新しい生活様式を踏まえ、市内各公民館における活性化策及び課題解消の参考となるよう、情報共有及び情報交換ができる場の提供を行う。</p>					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	公民館活動の活性化			SDGs	  	
主要事業	公民館を核とした地域教育力の向上及びネットワークの整備					
施策の方向性	継続できる公民館活動の推進					
成果指標	地域公民館活動に資する地元関係者との会合数					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	—	1回	1回	1回以上	—	
事業内容・成果	<p>少子高齢化による人口減少などにより自治公民館活動の継続性が懸念されている。そこで公立公民館の整備されていない一部地域の代表者との状況確認を含めた意見交換を実施している。今年度も1回実施し、支援の必要性の確認を行った。</p>				評価	A
課題・方向性	<p>今後も継続して地域の声を把握しながら公民館活動を継続していくための支援をして行く。</p>					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	人権教育の推進			SDGs	  	
主要事業	人権教育及び平和教育の推進					
施策の方向性	社会における人権教育の推進					
成果指標	人権教育に関する講演会・研修会の参加者延べ数					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	531人	201人	260人	550人	200	
事業内容・成果	<p>「は・あ・と・ふ・る運動」推進大会と名称を変更し開催。人権教育も含む講演をしていただき、啓発を図ることができた。また、人権啓発の趣旨を含んだ「は・あ・と・ふ・る運動」啓発作品コンクールにて、2,386点の応募があり人権啓発への意識醸成を図ることができた。</p>				評価	B
課題・方向性	<p>「は・あ・と・ふ・る運動」推進大会と名称が変わったため、毎年人権教育を前面に出してのものには難しい。今後も、「人のぬくもりと心の豊かさが実感できる西海市」を目指し、人権・同和教育の推進を図るため事業を工夫して行く。</p>					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	学校教育課
主要施策	人権教育の推進			S D G s	  	
主要事業	学校における人権・同和教育及び平和教育の推進					
施策の方向性	学校における人権教育、平和学習の推進					
成果指標	人権集会、平和集会の実施校の割合					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	100%	100%	100%	100%	—	
事業内容・成果	全小・中学校で、人権集会、平和集会を年間計画に位置付け、実施した。平和学習においては、県事業の「被爆体験講話者派遣事業」を活用するなどして、被爆者等の講演などを行った。				評価	A
課題・方向性	今後も取組を継続し、全小・中学校で確実に実施する。					

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上			所管課	社会教育課	
主要施策	家庭の教育力の向上			S D G s	 	
主要事業	保護者への子育て支援					
施策の方向性	保護者への家庭教育の支援					
成果指標	家庭教育学級の開催数					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	13学級	6学級	-	20学級	-	
事業内容・成果	コロナ禍で一定以上の事業実績が見込めず財政部局との協議を行い、令和5年度は事業凍結となったが、県の実施するファシリテーター派遣事業を周知など家庭の教育力向上に向けた間接的な支援をPTAや保護者会対象に4回実施した。				評価	D
課題・方向性	講師謝金の助成や講師の紹介など県の実施する事業を活用した間接的な支援に留まっているため、今後は新たな補助制度や職員の資質向上に努め直接的な支援へ繋げる手法を検討して行く。					

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上			所管課	社会教育課	
主要施策	家庭の教育力の向上			S D G s	 	
主要事業	保護者への子育て支援					
施策の方向性	家庭教育講座開設					
成果指標	公民館における家庭教育講座開設数					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	-	2講座	1講座	5講座	-	
事業内容・成果	地区社会教育講座において、親子で3Dプリンタを使った工作教室を企画し、親子を対象に家庭教育につながる学びの機会を提供した。				評価	C
課題・方向性	普段、家庭で体験することが少ない事を家庭教育講座を企画し、親子でコミュニケーションを取れるような取り組みを検討して行く。					

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上			所管課	社会教育課	
主要施策	家庭の教育力の向上		S D G s			
主要事業	P T A 連合会への支援					
施策の方向性	P T A 組織の支援					
成果指標	P T A 研究大会及び研修会等の開催					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	3回	3回	4回	3回	1,381	
事業内容・成果	西海市P T A 連合会主催による、会員間の連携・融和や資質向上と学校教育の充実・促進を図ることを目的とした会員研修会や各専門部主催の研修会が開催され、会員相互の情報共有が図られた。				評価	A
課題・方向性	今後も、西海市P T A 連合会が開催する研修会等への参加をはじめ、P T A の組織運営がスムーズに進むよう支援を行う。					

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上			所管課	社会教育課	
主要施策	家庭の教育力の向上		S D G s			
主要事業	学校・家庭・地域の連携推進					
施策の方向性	学校運営協議会の活性化による連携強化					
成果指標	コミュニティ・スクール設置校数					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	0校	5校	8校	10校	—	
事業内容・成果	令和5年度に、西彼北小・西海北小・大崎小で導入することができた。				評価	B
課題・方向性	概ね目標達成となるよう年次計画で進めており、この流れを継続して行く。					

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上			所管課	社会教育課	
主要施策	家庭の教育力の向上		S D G s			
主要事業	学校・家庭・地域の連携推進					
施策の方向性	学校支援地域本部等への支援による地域教育の推進					
成果指標	学校支援地域本部等の会合実施数					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	—	3回	3回	2回以上	—	
事業内容・成果	教育委員会と学校支援地域本部等との連携を深めるための会合を実施できなかったが、コミュニティ・スクールの地域コーディネータなどとの会合に参加し情報共有を図った。				評価	A
課題・方向性	今後もコミュニティ・スクールの会合なども含め連携を深めるため情報共有を継続して行く。					

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上			所管課	社会教育課	
主要施策	家庭の教育力の向上		S D G s			
主要事業	学校・家庭・地域の連携推進					
施策の方向性	市民すべてに向けた心の教育の啓発による土台作り					
成果指標	心の教育に関する啓発活動の取組数					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	—	3回	3回	5回以上	1,344	
事業内容・成果	令和5年度は、『はあとふる運動』推進大会として開催することができた。「は・あ・と・ふ・る運動」の実践発表を行ったことで、更なる運動の趣旨の周知が図られた。「少年の主張大会」と「ぎゅぎゅっと！西海フェス」においても啓発活動に取り組んだ。				評価	B
課題・方向性	これまで以上に、あらゆるイベントや場面で「は・あ・と・ふ・る運動」の周知に努めて行く。					

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上			所管課	社会教育課	
主要施策	青少年の健全育成			S D G s	 	
主要事業	青少年関係団体の活性化					
施策の方向性	青少年健全育成活動の支援による青少年の健全育成推進					
成果指標	青少年健全育成事業及び啓発活動実施件数					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	3回	5回	4回	3回以上	662	
事業内容・成果	西海市少年の主張大会を令和6年1月に開催した。 また、「ぎゅぎゅっと！西海フェス2023」に参加し、西海市青少年育成協議会の活動についての周知・PR、並びに青少年健全育成活動の推進と市民の意識高揚を図ることができた。				評価	A
課題・方向性	支部活動の活性化を図りつつ、今後も青少年健全育成を推進するため、関係団体と連携・情報共有を図りながら事業を展開する。					

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上			所管課	社会教育課	
主要施策	青少年の健全育成			S D G s	 	
主要事業	青少年関係団体の活性化					
施策の方向性	指導者育成の支援による地域教育力の充実					
成果指標	指導者研修会の開催					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	1回	1回	1回	1回以上	—	
事業内容・成果	市内でココロねっこ指導員等講習会を開催し、西海市ココロねっこ指導員6名の参加があった。				評価	A
課題・方向性	ココロねっこ指導員の高齢化が否めない状況下にあるため、指導員の新規加入に努める。					

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上			所管課	社会教育課	
主要施策	青少年の健全育成			S D G s	  	
主要事業	青少年の体験活動の推進					
施策の方向性	子ども体験活動事業の推進（西海市子ども夢基金）					
成果指標	子ども体験活動事業申請対象件数					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	21件	18件	21件	32件	4,458	
事業内容・成果	市民団体等が次代を担う子どもの健やかな成長を育むことを目的として行う事業（自然体験・科学体験・文化活動等）に対し、21件の助成を行った。また、「は・あ・と・ふ・る運動」啓発の努力規定について説明したところ、創意工夫ある事業実施が見られた。				評価	B
課題・方向性	今後も自然体験や文化活動等を通して、本市の次代を担う子ども達の健やかな成長を育むため、本事業の積極的な活用について、幅広い周知活動を展開する。魅力ある事業の活用に向け本事業の趣旨について丁寧な説明を行っていききたい。					

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上			所管課	社会教育課	
主要施策	青少年の健全育成			S D G s	  	
主要事業	青少年の交流活動の推進					
施策の方向性	交流及び体験活動の機会の提供					
成果指標	青少年を対象にした体験・交流事業					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	1回	2回	2回	2回	—	
事業内容・成果	西彼青年の家主催事業である「子ども遊楽塾」に対し、職員の派遣を21名（延べ数）行った。また、市内単位子ども会へ本事業の情報提供を行い、市内児童から23名の参加があった。				評価	A
課題・方向性	今後も関係団体と連携・協力を図りながら、青少年の交流活動の更なる推進及び支援体制づくりに努める。					

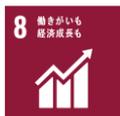
重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上			所管課	社会教育課	
主要施策	青少年の健全育成			SDGs	  	
主要事業	青少年の有害環境から守る取組の推進					
施策の方向性	有害情報対策の推進					
成果指標	有害図書類販売店舗等への立入調査回数					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	2回	2回	2回	2回	26	
事業内容・成果	「青少年の非行・被害防止全国協調月間（7月）」と「子ども・若者育成支援強調月間（11月）」にあわせ、関係団体（機関）の協力を得ながら、有害図書類等販売店舗（コンビニ・書店・携帯電話販売店等）への立入調査を実施した。また白ポストによる有害図書類等の回収を実施した。				評価	A
課題・方向性	今後も、有害図書類等販売店舗への立入調査と白ポストによる有害図書類等の回収事業を継続し、青少年の健全育成のため有害環境の浄化に努める。					

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上			所管課	社会教育課	
主要施策	青少年の健全育成			SDGs	  	
主要事業	青少年を有害環境から守る取組					
施策の方向性	メディア安全指導員の養成と利用促進					
成果指標	本市における長崎県メディア安全指導員の登録者数					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	1人	3人	3人	8人	—	
事業内容・成果	市内各学校から講演依頼があった際、メディア安全指導員を派遣し、情報メディアの適切な利用について講話を行ってきた。令和5年度はコロナの影響もあり派遣依頼はなかった。				評価	C
課題・方向性	生成型AIなど急速に進化しているDX化に対し、青少年への悪影響を防止するルール作りなどは不完全な状況である。そのため、メディア安全指導員の確保と講話機会の拡大に努める。					

重点政策	安心して学べる教育環境の構築			所管課	学校教育課	
主要施策	安心で望ましい教育環境の実現			S D G s	 	
主要事業	地域ぐるみの学校安全体制の構築					
施策の方向性	地域ぐるみの安全確保対策					
成果指標	関係機関やP T A等が協力して児童の登下校を見守っている小学校の割合					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	100%	100%	100%	100%	—	
事業内容・成果	学校及び保護者、地域ボランティアとの連携を図り、地域ぐるみの学校安全体制の充実を図った。				評価	A
課題・方向性	児童生徒が安心して学校や地域で生活が送れるよう、家庭や地域の関係機関・団体と連携しながら、学校の安全管理に関する取組を一層充実する。					

重点政策	安心して学べる教育環境の構築			所管課	教育総務課	
主要施策	安心で望ましい教育環境の実現			S D G s		
主要事業	学校の適正配置の促進					
施策の方向性	学校の適正配置の推進					
成果指標	小学校数					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	14校	11校	10校	「西海市立小中学校適正配置基本計画」や地域住民等の意向等を踏まえた実施計画に基づいた学校数	—	
事業内容・成果	令和4年度の大崎小学校開校をもって適正配置事業の目途が付いたので、少子化で児童生徒数が減少する小中学校の状況を把握したうえで、望ましい学校のあり方を検証した。				評価	B
課題・方向性	学校の適正配置の促進については、対象地区の地域住民等の意向を踏まえ、子どもたち並びに地域にとって望ましい学校のあり方について引き続き検討していく。					

重点政策	安心して学べる教育環境の構築			所管課	学校教育課 教育総務課	
主要施策	安心で望ましい教育環境の実現			S D G s		
主要事業	学校の適正配置の促進					
施策の方向性	校種間の連携強化					
成果指標	小・中・高合同で行う行事等、連携して実施する活動数					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	2回	0回	1回	2回	—	
事業内容・成果	大崎中学校の合唱コンクールを大島文化ホールで開催し、大崎小学校6年生と大崎高校1・2年生が鑑賞する合同行事を開催できた。以前実施していた合同遠足については、令和5年度は大崎小と大島こども園の合同遠足開催、中・高については歓迎集会を合同で開催し、小・中・高での合同開催はできなかったが、校種を超えて連携した取組を行うことができた。中・高間では、生徒会活動や集会活動を通じた連携等の機会を充実させることができた。				評価	B
課題・方向性	大崎地区においては、「連携型中・高一貫教育」の取組を継続し、学校の活性化につなげていくとともに、「小・中・高一貫教育」については、各校種における教育効果を見定めて計画していく必要がある。他地区においても、学校間・校種間の連携を図ることは、児童生徒が多様な教職員や児童生徒と関わる機会の充実につながるため、各校の教育目標や教育課程に照らし、連携強化が図られるようにしていく必要がある。					

重点政策	安心して学べる教育環境の構築			所管課	社会教育課	
主要施策	安心で望ましい教育環境の実現			S D G s	  	
主要事業	放課後の子供たちの居場所づくり					
施策の方向性	放課後子ども教室の開設、土曜学習の開催、放課後の受け入れ施設等との連携					
成果指標	事業内容に関するアンケート満足度					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	—	96%	98%	90%以上	4,156	
事業内容・成果	放課後子ども教室を西海東小と大崎小で実施した。土曜学習は、ふるさと体験発見コース『食』をテーマに「山と海のふるさと、西海市の食産物を知り、自然がもたらす恵みと歴史を学ぶ」ことを活動目的として実施した。関係者からの説明を受けながら貴重な体験学習の提供ができ、概ね参加者からは肯定的な意見が多数を占めた。				評価	A
課題・方向性	今度も学童に通うことができない児童の一定の受け皿として放課後子ども教室を継続しつつ、ふるさとを愛する西海っ子を育むため故郷を知る体験学習を展開して行く。					

重点政策	安心して学べる教育環境の構築			所管課	教育総務課	
主要施策	安心で望ましい教育環境の実現			SDGs	  	
主要事業	奨学資金制度の充実					
施策の方向性	奨学資金制度の充実、市内定住促進					
成果指標	最終学校を卒業した奨学生のうち、市内に住民登録している者の割合					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	33%	75%	52%	70%	102	
事業内容・成果	西海市内に住民登録をする者に扶養される学生が、経済的な理由により修学が困難である場合に学資の貸付けを行うことにより教育の機会均等を図り、広く人材の育成を行った。また、市内定住を条件とした返還免除を行い本市への定住の促進を行ったが、市外へ就職する者が多く、前年度と比べ市内に住民登録をしている者の割合が少なくなった。				評価	B
課題・方向性	市内定住を条件とした返還免除を行い本市への定住を促進を行うとともに、返還免除の影響を考慮した基金運用を行う。また、償還については、貸与者の意識の低下による延滞金も発生していることから、債権管理の適正化を図る必要がある。					

重点政策	安心して学べる教育環境の構築			所管課	教育総務課	
主要施策	安心で望ましい教育環境の実現			SDGs	 	
主要事業	就学支援の充実					
施策の方向性	就学支援の支給、特別支援教育就学奨励費の支給、通学費補助、通学手段の整備					
成果指標	対象者に対する実施率					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	100%	100%	100%	100%	57,695	
事業内容・成果	特別支援の児童生徒や経済的な理由により就学困難な児童生徒の保護者へ学用品費等の援助を行い、義務教育の均衡を図ることができた。また、通学費の補助を行い、保護者の負担軽減を図った。				評価	A
課題・方向性	社会経済情勢の変化や家庭環境の変化などを考慮し、支援が必要な対象者に対し支援を実施できる体制を整える。また、紙媒体での申請方法の見直しを行い、ロゴフォームの利用により、申請者及び学校事務の負担軽減を図る。					

重点政策	安心して学べる教育環境の構築			所管課	教育総務課	
主要施策	安心して望ましい教育環境の実現			SDGs	 	
主要事業	市内高等学校の活性化支援					
施策の方向性	市内高等学校の活性化支援、中学生に対する高等学校のPR、市独自の高等学校支援 高等学校への通学の利便性の向上					
成果指標	入学者41名以上を達成した学校数					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	2校	1校	1校	3校	20,366	
事業内容・成果	西海市スポーツ専門指導員2名が西彼杵高等学校女子バレーボール部外部指導者として携わり入学者の増加を図った。併せて、音楽プロデューサーとして中村先生へ委託し、市内高等学校の音楽指導を実施した。また、高等学校への支援事業として魅力向上支援事業補助金（魅力ある学校づくり事業、入学支援事業、大学進学応援事業）を交付し、学校の特色ある魅力向上を図った。				評価	B
課題・方向性	市内中学校から市内高等学校への進学率が半数を割っており、市内中学校から市内高等学校への進学率の向上を図る必要がある。また、高等学校の魅力向上を図り、近隣中学校から進学されるような魅力ある学校づくりを図る。					

重点政策	安心して学べる教育環境の構築			所管課	教育総務課	
主要施策	安心して望ましい教育環境の実現			SDGs	  	
主要事業	学校施設の改修					
施策の方向性	学校校舎等の長寿命化					
成果指標	校舎の大規模改造					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	9校/30校	21校/30校	24校/30校	30校/30校	272,779	
事業内容・成果	老朽化が著しい学校校舎について、内壁、床、給排水設備、機械設備、電気設備などの内部改修、外壁及び屋上防水改修並びに非構造部材の耐震化を年次計画で実施し、長寿命化に努める。 令和5年度は、大瀬戸中学校の改修工事及び同校の図書室移転等の改修設計を行った。				評価	A
課題・方向性	施設自体の老朽化が進んでいる学校が多く、校舎の内外壁、屋上防水、床、給排水設備等学校施設としての整備が課題であり、予算の平準化を図りながら実施していく必要がある。					

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	教育総務課	
主要施策	安全で快適な教育施設の整備				S D G s	  	
主要事業	学校施設の改修						
施策の方向性	学校校舎等の長寿命化						
成果指標	屋内運動場の大規模改造						
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)		
	4校/14校	7校/14校	8校/14校	14校/14校	258,747		
事業内容・成果	老朽化が著しい屋内運動場について、内壁、床、給排水設備、機械設備、電気設備などの内部改修、外壁及び屋上防水改修並びに非構造部材の耐震化を年次計画で実施し、長寿命化に努める。令和5年度は西海中学校の改修工事、大瀬戸中学校の改修設計を行った。					評価	A
課題・方向性	施設自体の老朽化が進んでいる学校が多く、屋内運動場の内外壁、屋上防水、床、給排水設備等学校施設としての整備が課題であり、予算の平準化を図りながら実施していく必要がある。						

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	教育総務課	
主要施策	安全で快適な教育施設の整備				S D G s	  	
主要事業	学校施設の改修						
施策の方向性	屋外運動場の改修						
成果指標	屋外運動場の改修						
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)		
	3校/4校	3校/4校	3校/4校	4校/4校	—		
事業内容・成果	児童生徒が等しく体育活動に参加できるよう、学校屋外運動場の改修について計画的な実施に努める。					評価	B
課題・方向性	屋外運動場においては、運動の内容、利用形態等に応じた適度な弾力性を備えた良好な排水性が求められるが、排水機能が低下した屋外運動場もあり、計画的に改修することが課題であり、予算の平準化を図りながら実施していく必要がある。						

重点政策	安心して学べる教育環境の構築			所管課	教育総務課	
主要施策	安全で快適な教育施設の整備			S D G s	  	
主要事業	学校施設の改修					
施策の方向性	トイレの洋式化					
成果指標	トイレの洋式化率					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	30.20%	63.00%	71.14%	80.00%	70,874	
事業内容・成果	子供たちや学校利用者が、安心感をもって小中学校を利用することができるよう、計画的にトイレの洋式化に努める。 令和5年度は西海北小学校等の改修工事を行った。				評価	A
課題・方向性	トイレの洋式化は学校施設としての整備はもとより、避難所としても機能するよう整備を進める必要があり、予算の平準化を図りながら実施していく必要がある。					

重点政策	安心して学べる教育環境の構築			所管課	学校教育課	
主要施策	安全で快適な教育施設の整備			S D G s	  	
主要事業	学校情報通信技術の整備					
施策の方向性	授業・学習面と校務面の両面でのICT化の推進					
成果指標	授業中にICTを活用して指導できる教員の割合					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	—	87%	85%	100%	—	
事業内容・成果	すべての教員が授業中にICTを活用して児童生徒に指導することができる力を付けることで、「個別最適な学び」「協働的な学び」を実現することができるようにする。令和5年度「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」の結果、85%の教員が必要なICT活用能力を有していた。				評価	B
課題・方向性	今後は、教員の指導力を高めることができるように、希望者を対象としたICT活用研修会を開催していく。また、教員のICT活用能力の向上とともに、児童生徒のICT活用能力やメディアリテラシーについても高めていく必要がある。					

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	教育総務課	
主要施策	安全で快適な教育施設の整備				S D G s	  	
主要事業	教職員住宅の整備						
施策の方向性	教職員住宅の整備						
成果指標	教職員住宅の戸数						
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)		
	90戸	93戸	92戸	93戸	10,777		
事業内容・成果	<p>随時入居者から相談があった不良個所の修繕対応や経年劣化した床や設備の更新を実施し、住宅の適正な管理を行った。          ※江島地区の教職員住宅として使用していた看護師公舎1戸を、令和5年度から所管課へ返却したため、戸数の減あり。</p>					評価	B
課題・方向性	<p>老朽化した住宅には、築40年以上のものもあるため、設備の更新や改修を進め、教職員のニーズに即した環境整備に努める。</p>						

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	教育総務課	
主要施策	安全で快適な教育施設の整備				S D G s	  	
主要事業	教職員住宅の整備						
施策の方向性	教職員住宅の水洗化						
成果指標	教職員住宅の水洗化率						
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)		
	68.90%	89.69%	89.58%	95.7%	—		
事業内容・成果	<p>教職員住宅の水洗化を計画的に実施するため、未実施住宅の状況把握に努めた。          ※江島地区の教職員住宅として使用していた看護師公舎1戸を、令和5年度から所管課へ返却したため、率の変動（減）あり。</p>					評価	B
課題・方向性	<p>水洗化が進んでいない教職員住宅について、新築、改修の機会を捉え、水洗化の推進に向けた予算確保に努める。</p>						

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	文化・芸術活動の推進		S D G s	 		
主要事業	文化芸術と触れ合う機会の創出					
施策の方向性	芸術と触れ合う機会の創出、文化・芸術の拠点機能充実					
成果指標	優れた文化・芸術に関するイベントの開催回数（年間）					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	0回	2回	3回	2回	—	
事業内容・成果	西海北小学校、西海中学校、大崎中学校で文化庁事業を活用し、演劇、伝統芸能の観賞機会を提供できた。				評価	A
課題・方向性	今後も文化協会など関係団体と連携し、文化庁事業も利用しながら、上質な文化・芸術に関するイベントの機会を提供し、文化の振興に努める。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	文化・芸術活動の推進		S D G s	 		
主要事業	文化芸術と触れ合う機会の創出					
施策の方向性	文化・芸術を通じた地域内外の交流					
成果指標	文化施設の利用者数					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	11,803人	7,529人	7,518人	13,000人	7,430	
事業内容・成果	西海市文化祭、西海市文化展、西海市民音楽祭、新春踊り初めなど、西海市文化協会による文化事業を支援し、文化・芸術に接する機会の創出を図った。				評価	B
課題・方向性	今後とも、文化協会による文化事業を支援し、文化・芸術の振興を図る。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	文化・芸術活動の推進			SDGs	 	
主要事業	文化団体の交流活動の促進					
施策の方向性	文化活動の活性化支援					
成果指標	文化祭等の開催（年間）					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	3回 2,154人	4回 1,448人	4回 1,623人	4回 2,300人	7,430	
事業内容・成果	西海市文化協会による西海市文化祭、西海市文化展、西海市民音楽祭、新春踊り初めといった主要事業をはじめとした数々の事業や広報誌発行等の活動を支援し、文化活動の活性化を図った。				評価	A
課題・方向性	今後とも文化活動活性化のため、西海市文化協会の活動を支援していく。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	文化・芸術活動の推進			SDGs	 	
主要事業	文化団体の交流活動の促進					
施策の方向性	文化活動の活性化を担う人材・団体の育成支援					
成果指標	西海市文化協会への加入促進					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	547人	650人	918人	570人	7,430	
事業内容・成果	文化協会が魅力ある文化事業推進に努めたことで、その会員数が増加した。				評価	A
課題・方向性	今後とも、文化協会を支援し、本市の文化活動を担っていく人材の育成を図っていく。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	文化財の保存・保護・活用			SDGs	 	
主要事業	文化財の公開・研究					
施策の方向性	歴史・文化の拠点づくり					
成果指標	ミュージアムのテーマである「海と石（地質・鉱物）」に関する調査・研究の総数					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	2件	7件	6件	7件	5,015	
事業内容・成果	国指定史跡ホゲット石鍋製作遺跡保存活用計画策定のための情報収集を行った。				評価	A
課題・方向性	国指定史跡ホゲット石鍋製作遺跡保存活用計画に基づいて、適正な整備、活用を進めていく。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	文化財の保存・保護・活用			SDGs	 	
主要事業	文化財の公開・研究					
施策の方向性	専門職員の配置、伝承活動の支援					
成果指標	歴史民俗資料館の入館者数					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	6,182人	2,871人	2,998人	6,400人	—	
事業内容・成果	西海、崎戸、大瀬戸の3館の歴史民俗資料館の老朽箇所の整備等を行い、西海市の歴史・自然の発信に取り組んだ。				評価	B
課題・方向性	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、以前より来館者数が減少しているが、展示資料の充実、企画展等、工夫しながら、来館者数の回復を図っていく。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	文化財の保存・保護・活用			SDGs	 	
主要事業	文化財の公開・研究					
施策の方向性	専門職員の配置、伝承活動の支援					
成果指標	文化財等の情報の提供回数（年間）					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	16回	12回	15回	25回	—	
事業内容・成果	国指定史跡ホゲット石鍋製作遺跡保存活用計画の公開や、市内にある文化財の情報を発信した。				評価	B
課題・方向性	今後も文化財等の情報提供を継続的に行い、価値の発信に努める。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	文化財の保存・保護・活用			SDGs	  	
主要事業	文化財の保存・活用					
施策の方向性	市民への啓発					
成果指標	西海史跡ガイドブック（『西海市の文化財』）の充実					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	1,000冊 作成	作成なし	作成なし	1,000冊	—	
事業内容・成果	『西海市の文化財』の改訂版を、必要に応じて発行するため、情報収集を継続した。				評価	B
課題・方向性	今後も情報収集を継続し、適宜、文化財についての情報を発信していく。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	文化財の保存・保護・活用			S D G s	  	
主要事業	文化財の保存・活用					
施策の方向性	保護・活用方法の検討					
成果指標	国指定文化財の保存活用計画の策定					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	1件	0件	1件	3件	4,797	
事業内容・成果	国指定史跡ホゲツト石鍋製作遺跡保存活用計画を策定した。				評価	B
課題・方向性	本市には西海橋があるが、所有者は長崎県であるため、保存活用計画については長崎県が行うこととなる。ただし協力は必要となると思われる。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	文化財の保存・保護・活用			S D G s	 	
主要事業	地域伝統文化の継承					
施策の方向性	伝統芸能活動の支援、情報発信の強化による地域住民の意識向上					
成果指標	伝統文化等の記録・保存件数					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	13件	13件	13件	19件	—	
事業内容・成果	西海市指定有形民俗文化財「上岳八朔祭」の映像記録製作を計画していたが、令和5年度は縮小して開催されたため、本来の形で開催される時に製作することとした。				評価	C
課題・方向性	今後とも保持団体と協議を行いながら、文化財の保存・継承のため映像記録の製作を進めていく。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	文化財の保存・保護・活用		SDGs	 		
主要事業	地域伝統文化の継承					
施策の方向性	伝統芸能活動の支援、情報発信の強化による地域住民の意識向上					
成果指標	認定文化財の登録件数					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	0件	0件	0件	5件	—	
事業内容・成果	西海市の偉人や遺跡、市内産の黒曜石についてふるさと発見講座を開催し、市民の文化財等についての意識向上を図った。				評価	B
課題・方向性	西海市文化財保護審議会で市内文化財の活用の協議を進め、新たな認定文化財登録についても検討していく。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興		SDGs	  		
主要事業	生涯スポーツの推進					
施策の方向性	生涯スポーツの環境づくり、ニュースポーツの普及					
成果指標	スポーツ教室等生涯スポーツ事業の開催数（年間）					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	13回	19回	2回	25回	—	
事業内容・成果	若者からシニアまで楽しめるスポーツをスポーツ推進委員を介して、市内各地区で講習会、研修会を実施し、新しいスポーツの普及を行った。				評価	C
課題・方向性	出前講座のみで新しいスポーツの普及活動ができなかったため、今後は高齢になってもスポーツに接することができるように、スポーツ推進委員を介して様々なスポーツの普及を目指す。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課
主要施策	活力あるスポーツの振興		S D G s	  	
主要事業	生涯スポーツの推進				
施策の方向性	生涯スポーツの環境づくり、ニュースポーツの普及				
成果指標	社会体育施設の利用者数				
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)
	225,550人	165,067人	173,753人	236,000人	—
事業内容・成果	市民が生涯スポーツを楽しめるように、市内40個所の体育施設を提供している。				評価
課題・方向性	今後も市民が生涯スポーツを楽しめるように社会体育施設を提供して行くが老朽化等による施設管理費の増加及び施設更新のための予算確保など課題が山積している。 施設整備計画の見直しを行いながら、安心安全な施設の提供に努める。				
					B

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課
主要施策	活力あるスポーツの振興		S D G s	  	
主要事業	スポーツ指導者の育成				
施策の方向性	スポーツ推進委員の資質向上、指導力の向上				
成果指標	スポーツ指導者講習会の開催回数				
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)
	0回	2回	1回	4回	111
事業内容・成果	九州地区スポーツ推進委員研究大会が、今回は長崎で開催されたため別開催での長崎県スポーツ推進委員研究大会はなく、1回のみスポーツ推進委員の派遣となったが、資質の向上を図ることができた。				評価
課題・方向性	研究大会等に積極的な参加により、資質の向上を図り、スポーツ推進委員を中心とした生涯スポーツを推進していく。				
					A

重点施策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興				SDGs	  	
主要事業	スポーツ指導者の育成						
施策の方向性	スポーツ推進委員の資質向上、指導力の向上						
成果指標	スポーツ関係者情報交換会の開催回数						
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)		
	0回/年	2回/年	1回/年	2回/年	111		
事業内容・成果	九州地区スポーツ推進委員研究大会へ市スポーツ推進委員を派遣することにより、他県市町の推進委員との情報交換を行った。					評価	A
課題・方向性	スポーツ推進委員を研究大会等に積極的に派遣することにより、他県市町から様々な情報を得ることで、スポーツ推進委員を中心とした生涯スポーツを推進していく。						

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興				SDGs	  	
主要事業	競技スポーツの推進						
施策の方向性	競技力向上を目指した各種講習会等の開催、地元プロスポーツの活用						
成果指標	各種講習会の開催数（年間）						
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)		
	3回	1回	1回	7回	115		
事業内容・成果	大瀬戸プールに瓊浦高等学校水泳部を招聘し、市内の小学生を対象にした水泳教室を実施した。					評価	C
課題・方向性	県内のプロスポーツチームである「ヴィファアーレン長崎」、「長崎ヴェルカ」や西海市スポーツ専門指導員を活用した講習会の開催など種目に捉われないことなく、スポーツの競技力向上及び競技スポーツの普及推進を図る。						

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興			S D G s	  	
主要事業	競技スポーツの推進					
施策の方向性	上位大会出場者への支援					
成果指標	県民体育大会参加者数（年間）					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	240人	168人	197人	300人	765	
事業内容・成果	スポーツ協会を介して県民体育大会出場者に対して、出場経費の補助を行った。				評価	A
課題・方向性	大会出場者の出場経費について補助を行うことにより、スポーツ競技力の向上を図る。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興			S D G s	  	
主要事業	競技スポーツの推進					
施策の方向性	上位大会出場者への支援					
成果指標	九州大会以上の大会への出場者数（年間）					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	19件	105件	143件	30件	3,587	
事業内容・成果	市のスポーツ大会出場補助金、青少年スポーツ振興補助金、スポーツ協会の選手派遣事業により出場者の出場経費の補助を行った。				評価	A
課題・方向性	大会出場者の出場経費について補助を行うことにより、スポーツ競技力の向上を図る。					

重点施策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	スポーツ環境の充実			SDGs	  	
主要事業	スポーツ施設の整備充実					
施策の方向性	スポーツ施設の整備、スポーツ施設の管理運営					
成果指標	体育施設の整備進捗率					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	22%	12.5%	12.5%	100%	26,862	
事業内容・成果	第2期西海市スポーツ推進計画における整備施工予定数8施設のうち令和5年度予定数1施設（西海スポーツガーデングラウンド防球ネット改修工事）が予定どおり終了した。				評価	B
課題・方向性	全体的に施設の老朽化により大規模改修が必要となってきた。大規模改修となると施工費も多大なものになるため、予算確保が懸念される。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	スポーツ環境の充実			SDGs	  	
主要事業	スポーツの推進体制づくり					
施策の方向性	情報提供の充実、スポーツ団体の育成支援、イベントの開催支援					
成果指標	スポーツ情報の提供（年間）					
	実績値 (H27年度)	R4年度	R5年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	12回	13回	15回	40回	—	
事業内容・成果	市広報誌、ウェブサイト等にて情報を掲載した。				評価	B
課題・方向性	市民に確実に情報提供できるように努めていく。					